

2018年卒 マイナビ学生就職モニター調査 3月の活動状況



2017年4月

- 内容 : 就職活動状況の定点調査
- 実施期間 : 2017年3月27日～2017年3月31日まで
- 調査対象 : 2018年卒業予定の全国大学4年生及び院2年生
- 調査方法 : Web上のアンケートフォームより入力

□モニター属性データ

カテゴリー	モニター登録数	有効回答数	有効回答率
文系男子	1,108	450	40.6%
理系男子	1,176	550	46.8%
文系女子	1,107	570	51.5%
理系女子	1,188	612	51.5%
総計	4,579	2,182	47.7%

カテゴリー	モニター登録数	有効回答数	有効回答率
関東地区	1,791	878	49.0%
東海地区	435	215	49.4%
関西地区	1,003	465	46.4%
上記以外のエリア	1,350	624	46.2%

カテゴリー	モニター登録数	有効回答数	有効回答率	
学部	理系:機電系	211	91	43.1%
	理系:情報系	234	100	42.7%
	理系:土木・建築系	174	72	41.4%
	理系:化学系	164	59	36.0%
	理系:薬学系	202	114	56.4%
	理系:その他理系	507	219	43.2%
院	理系:機電系	197	119	60.4%
	理系:情報系	73	45	61.6%
	理系:土木・建築系	60	27	45.0%
	理系:化学系	213	125	58.7%
	理系:薬学系	44	23	52.3%
	理系:その他理系	285	168	58.9%

【3月のTOPICS】

～前年より早いペースで活動が進み、1次面接を受けた学生が半数を超える～

3月の学生の行動割合を前年と比較すると「個別企業セミナー参加」は9割を超えてほぼ前年並み、「エントリーシート提出」は8割を超えて前年よりやや増加した。ここまでは前年と大きく変わらなかったが、企業の選考活動の進捗が前年よりも早く、「エントリーシート通過」は3月前半で3割超、3月全体では6割となり、1次面接を受けた学生も半数を超えた。行動量は個別企業セミナー参加以降のフェーズで前年よりやや増加し、特に3社以上のインターンシップに参加した学生が他より活発に行動している。エントリーシートを提出すればすぐ結果の通知があり、個別企業セミナーに参加すれば1次面接に呼ばれるといった様子で、今年の就活生の広報活動開始月は前年よりさらに忙しい1ヶ月間となったようだ。

- (P. 3) エントリーシートが通過した学生は61.3% (前年比7.8pt増)、1次面接を受けた学生は53.3% (前年比8.0pt増)
- (P. 4) 3月にかかった「就活費用」は36,598円。全体合計は前年より減ったが、交通費・宿泊費は前年より増加
- (P. 10) 個別企業セミナーに参加しやすい曜日は理系は平日より土日、文系は土日より平日。時間帯は午後1時台～3時台
- (P. 19) エントリーする基準では「少しでも興味が湧いた」が減少、「志望度の高い業界の中で幅広く」が増加
- (P. 23) 「働きがい」や「やりがい」を感じるのは「成長したと感ぜられる」職場という回答が40.6%
- (P. 27) インターンシップに3社以上参加した学生のエントリー社数平均は31.3社で不参加の学生より6.7社多い

■集計方法

全体の回答率を算出するにあたり、有効回答数の文理男女構成比を、2018年3月卒業予定の大学生・大学院生の比率と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は2016年12月公表の平成28年度学校基本調査より、大学3年生・院1年生の在籍数から男女比を参照している。文理区分については文部科学省・厚生労働省共同調査による「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」の分類に準拠。

※ウエイトバック集計とは、アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。

■□各種調査はWEB上でも順次公開中！□■

採用・研修担当者のための新卒採用支援情報サイト 新卒採用サポネット <http://saponet.mynavi.jp/>

■□本資料について□■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社 マイナビ 社長室 HRリサーチ部

INDEX

【定点調査】 **■1:3月の活動状況**

■2:エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況、就活費用

- (1) アンケート回答者全体の平均エントリー社数
- (2) アンケート回答者全体の合同企業説明会・個別企業セミナー参加・適正検査受験・エントリーシート提出状況
- (3) 3月の就活費用

■3:就職活動の感触・就職観

- (1) 先輩と比較して自分たちの就職活動は
- (2) 楽になると回答した理由 【複数回答】
- (3) 厳しくなると回答した理由 【複数回答】
- (4) 1日に費やしている時間の平均
- (5) 現時点での不安
- (6) 就職活動で不安に思う要因 【複数回答】
- (7) この時期最も注力している就職活動の内容

■4:企業選択のポイント

- (1) 現在の活動は【中小企業中心or大手企業中心】
- (2) 企業選択の際注目するポイント【3つ選択・最も注目】

■5:【理系】3月の活動状況

- (1) 理系学生の活動状況 【複数回答】
- (2) 企業への選考を受けた割合
- (3) 企業への応募方法

【追加調査】

- (4) ジョブマッチングを受けた経験
- (5) ジョブマッチング経験者の受けた社数
- (6) 個別企業セミナーに参加しやすい曜日・研究室に行く曜日 【複数回答】
- (7) 就職情報サイトを見ていることがある時間帯・研究室にいる時間帯 【複数回答】
- (8) ※参考:文系学生の個別企業セミナーに参加しやすい時間帯・就職情報サイトを見ていることがある時間帯

【追加調査】 **■6:自己分析・業界研究・企業研究に用いたもの**

- (1) 自己分析・業界研究・企業研究に用いたもの 【複数回答】

■7:今後の就職活動について

- (1) 企業に公開して欲しいデータ 【複数回答】
- (2) 企業に公開して欲しい情報 【複数回答】
- (3) 企業の情報やデータを知って志望度が下がった経験
- (4) 志望度が下がった理由 【複数回答】
- (5) 今後の就職活動の方向性
- (6) 大手企業と聞いて思い浮かべる要素【3つ選択】

■8:エントリーについて

- (1) 現在のエントリー状況
- (2) 今後のエントリー想定社数
- (3) エントリーする際の気持ち
- (4) エントリーする基準
- (5) エントリーする際に見ている項目(卒年別)
- (6) エントリーする際に見ている項目(文理男女別)
- (7) エントリー後見られる情報のためにエントリーしたいか
- (8) エントリー後に志望度を高めた情報 【複数回答】
- (9) アンケートが付いていたことが理由でエントリーしなかったこと
- (10) エントリーしなかった理由
- (11) 志望度の高い企業でエントリーしなかったこと
- (12) 個別企業セミナーの予約ができることは、エントリーをするかどうかに影響するか

■9:就職に関する志向について

- (1) 希望する働き方
- (2) 就職先に「働きがい」や「やりがい」を求めめるか
- (3) 社会人として働くことでたいもの 【複数回答】
- (4) 「働きがい」や「やりがい」を感じる職場 【2つ選択】
- (5) 企業選択を迫られる際重視するポイント

■10:インターンシップについて

- (1) 2月以前にインターンシップ参加のための選考を受けた割合
- (2) 2月以前にインターンシップに参加した経験の有無
- (3) インターンシップに応募する基準 【3つ以内で選択】
- (4) 参加しやすいと感じる実施期間
- (5) 実際にインターンシップに参加した社数
- (6) 参加企業のうち3月以降エントリーした企業数平均
- (7) 参加企業のうち採用選考を受けた数+今後受けるつもりの数平均

■11:就職情報誌について

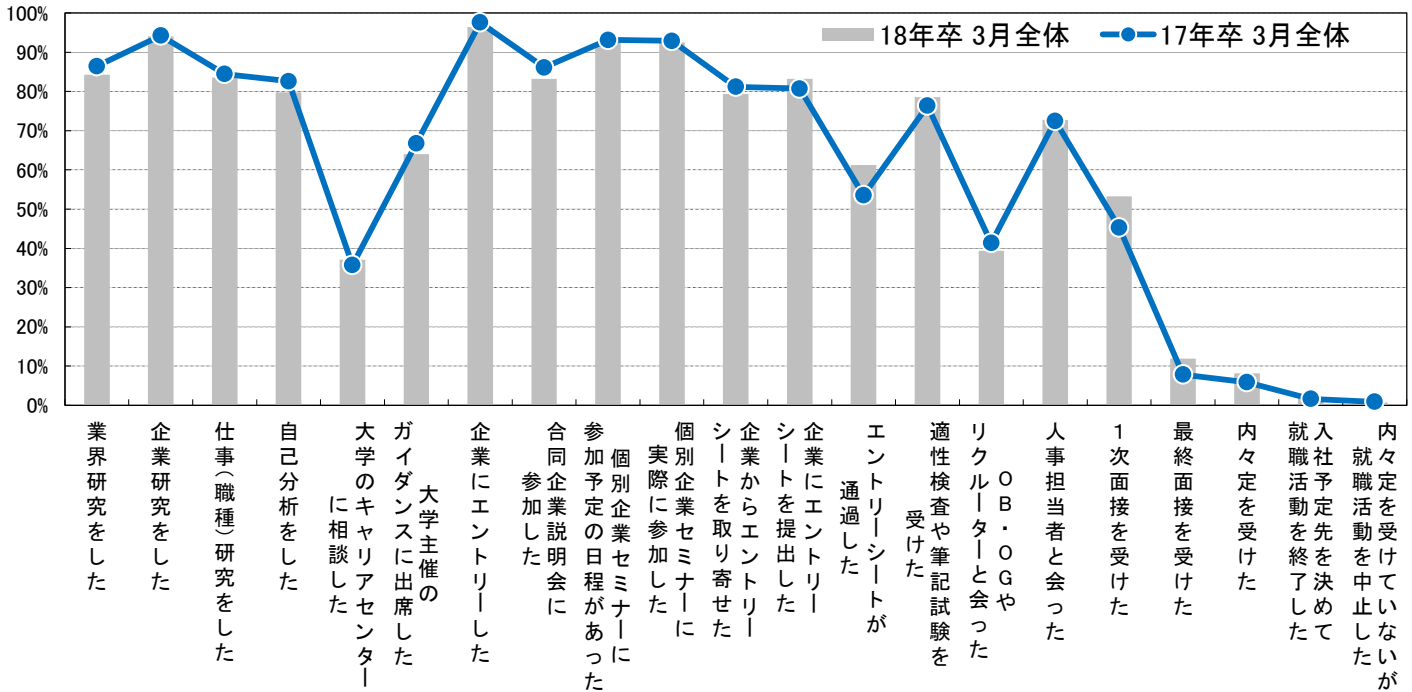
- (1) 就職情報誌を受け取った経験
- (2) 就職情報誌を読んだ経験
- (3) 宅配型の情報誌で知りたかった・読みたかった情報

※調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならない場合がございます。予めご了承ください。

■1:3月の活動状況

広報活動開始月の3月の活動状況を前年と比較すると、企業にエントリーした学生の割合は、3月前半こそ前年並みだが、後半は減少した。個別企業セミナーに参加した学生の割合は、前半が増加し、後半は減少した。エントリーシートを取り寄せた学生の割合は「前半は増加したが、後半は減少」、提出した学生の割合は「前半こそ増加したものの、後半は前年並み」、通過した学生の割合は「前半・後半とも増加」だった。1次面接を受験した学生の割合と最終面接を受験した学生の割合も、それぞれ前半・後半とも増加した。早いペースで個別企業セミナー参加以降の活動を進めている学生が、前年より増えている。3月中にエントリーシートが通過した学生の割合は61.3%と6割を超え（前年より7.8pt増加）、1次面接を受けた学生の割合は53.3%と半数を超えた（前年より8.0pt増加）。

3月の活動状況



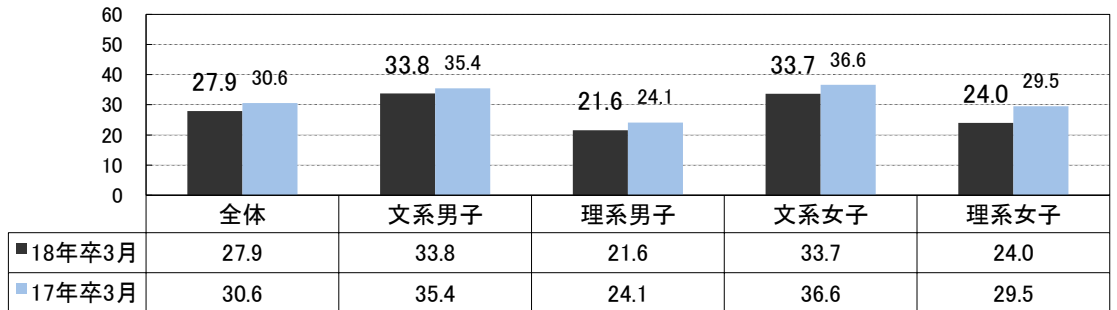
	18年卒			17年卒【参考】		
	3月全体	3月前半	3月後半	3月全体	3月前半	3月後半
業界研究をした	84.3%	79.9%	45.7%	86.5%	81.2%	49.8%
企業研究をした	94.1%	83.1%	66.8%	94.2%	80.6%	70.8%
仕事(職種)研究をした	83.5%	70.0%	53.4%	84.4%	68.2%	57.4%
自己分析をした	79.8%	70.1%	44.7%	82.6%	70.4%	48.3%
大学のキャリアセンターに相談した	37.1%	29.1%	17.0%	35.7%	27.3%	18.3%
大学主催のガイダンスに出席した	64.0%	59.8%	15.7%	66.7%	61.3%	23.0%
企業にエントリーした	96.4%	92.6%	58.7%	97.6%	93.1%	65.5%
合同企業説明会に参加した	83.2%	80.3%	22.6%	86.1%	81.5%	33.9%
個別企業セミナーに参加予定の日程があった	92.5%	72.6%	76.1%	93.1%	66.3%	80.2%
個別企業セミナーに実際に参加した	92.5%	70.0%	77.5%	92.9%	62.5%	81.5%
企業からエントリーシートを取り寄せた (企業HP・サイトからダウンロードや郵送で取り寄せた)	79.4%	62.1%	58.3%	81.2%	58.3%	63.3%
企業にエントリーシートを提出した(取り寄せたシートを記入し返送したり、WEBから直接書き込んだりした)	83.2%	48.0%	71.9%	80.7%	41.6%	70.8%
エントリーシートが通過した (シートを提出後、次の選考の案内が来た)	61.3%	30.4%	49.7%	53.5%	21.5%	46.0%
適性検査や筆記試験を受けた	78.5%	41.1%	66.9%	76.4%	35.2%	67.5%
OB・OGやリクルーターと会った	39.4%	25.8%	27.3%	41.4%	24.2%	29.7%
人事担当者与会った	72.7%	55.2%	58.1%	72.5%	48.6%	60.0%
1次面接を受けた	53.3%	29.1%	39.3%	45.3%	20.9%	35.3%
最終面接を受けた	11.9%	5.9%	6.9%	7.9%	2.5%	6.0%
内々定を受けた	8.2%	3.9%	4.7%	5.9%	2.6%	3.4%
入社予定先を決めて就職活動を終了した	1.9%	0.8%	1.1%	1.7%	0.7%	1.1%
内々定を受けていないが就職活動を中止した	0.7%	0.2%	0.6%	0.9%	0.5%	0.7%

■2: エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況、就活費用

エントリー社数の単月平均は27.9社（前年比2.7pt減）と前年よりやや減少した。前後半で分けると、3月前半0.8pt減（20.7社）、後半1.9pt減（7.2社）と後半の減少幅の方が大きかった。文理男女別に見ると、理系女子の減少幅が前年比5.5pt減（24.0社）と最も大きい。個別企業セミナーの予約社数と参加社数はそれぞれやや増加し（予約：0.9pt増、参加：0.7pt増）、適性検査や筆記試験の受験社数、エントリーシートの取り寄せ・提出・通過社数、面接（GDを含む）受験社数もわずかに増加した（5項目すべて前年比0.4pt増）。就活費用は全体では前年よりやや減少したが、交通費・宿泊費は増加しており、個別企業セミナーや面接などに足を運ぶ学生の割合が増えていることを反映しているようだ。

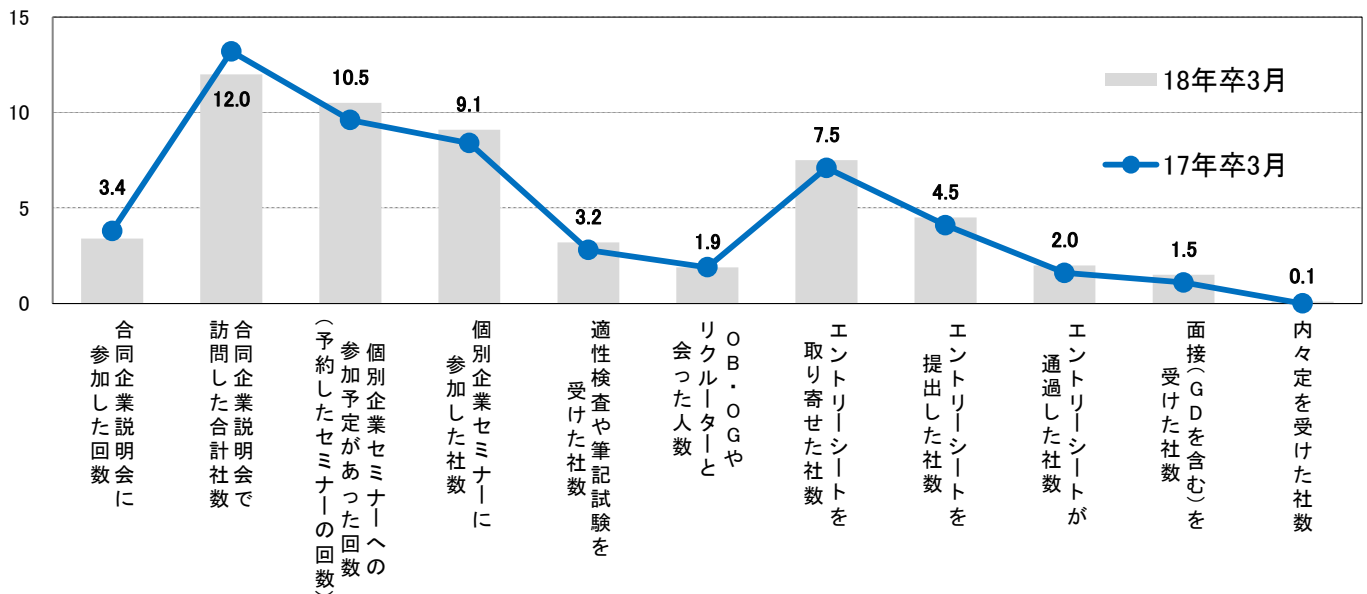
3月平均エントリー社数

【単位：社】



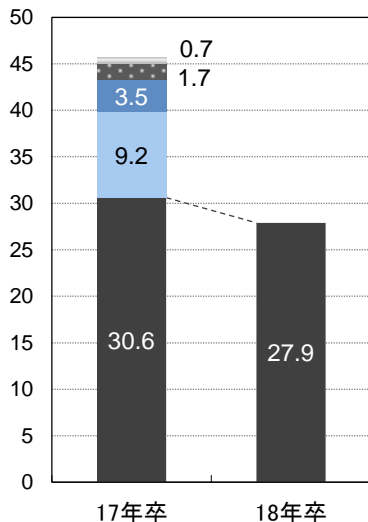
合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、適性検査受験社数、エントリーシート提出社数（平均）

【単位：社】



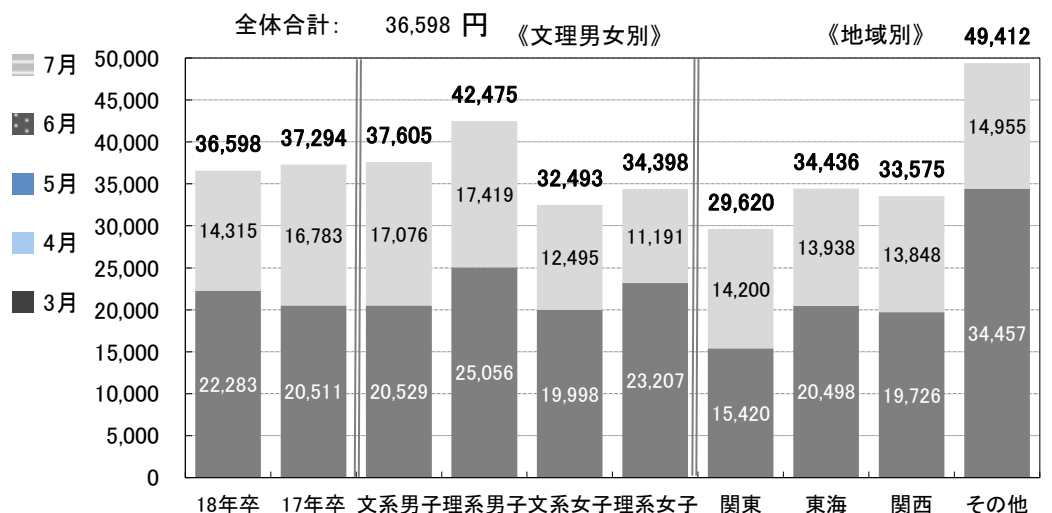
平均エントリー社数累計

【単位：社】



3月の就活費用（平均）

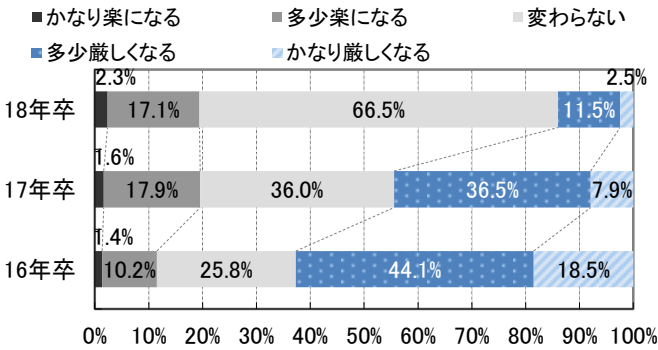
■交通費・宿泊費 ■その他（スーツや書籍など） 【単位：円】



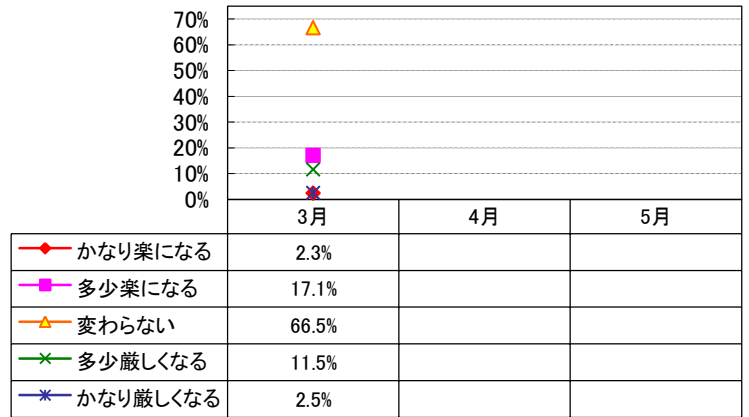
■3:就職活動の感触・就職観

先輩と比較して、自分達の就職活動が楽になると思うか、それとも厳しくなると思うか聞いたところ、全体の3分の2の学生が「変わらない」と回答した（66.5%、前年比30.5pt増）。「(かなり+多少)楽になる」と回答した学生は19.4%で、「(かなり+多少)厳しくなる」と回答した学生の14.0%を上回った。「(かなり+多少)厳しくなる」と回答した学生の割合は前年比30.4pt減と大きく減った。前年の学生よりやや楽観的な傾向があるようだ。「楽になる」と回答した学生に、そう思う理由を聞いたところ、ほぼ8割の学生が「売り手市場（学生が有利）だと思うから（79.9%）」と回答した。「厳しくなる」と回答した学生のそう思う理由では、約半数が「選考開始までの期間が短くなるから準備不足になる（47.2%）」と回答した。

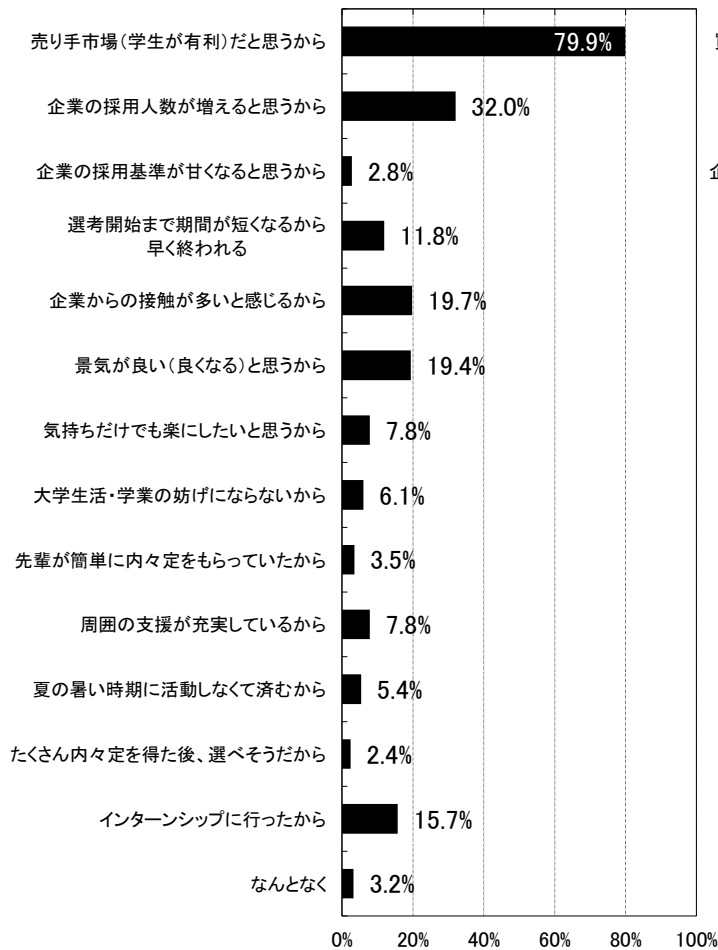
先輩と比較して自分達の就職活動は



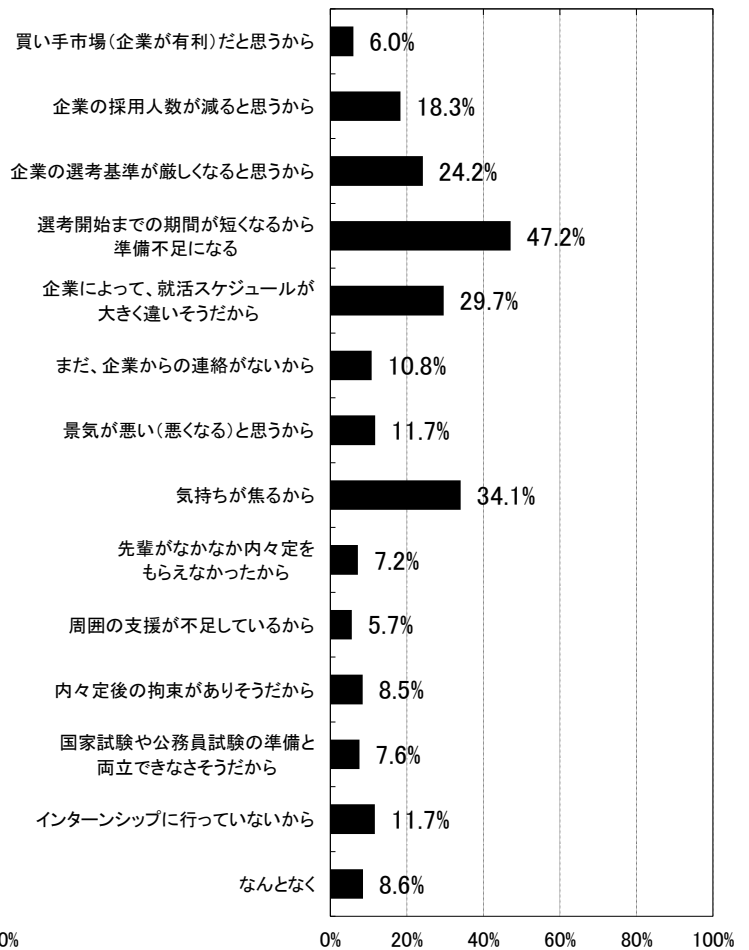
先輩と比較して自分達の就職活動は(3月～)



楽になると思う理由【複数回答】(n=419)



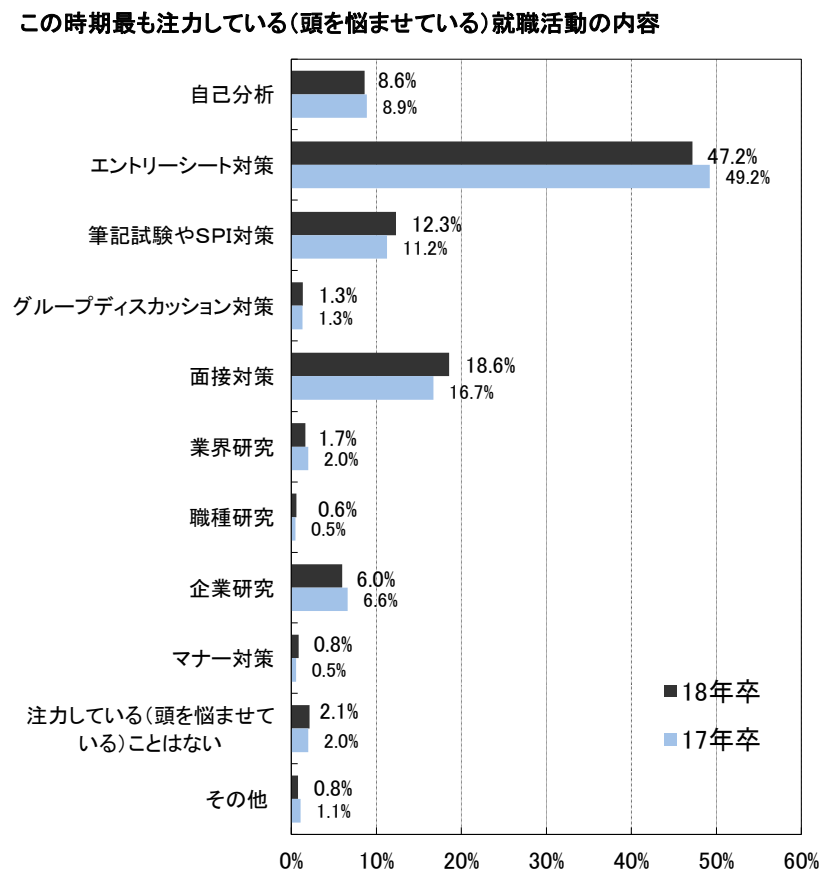
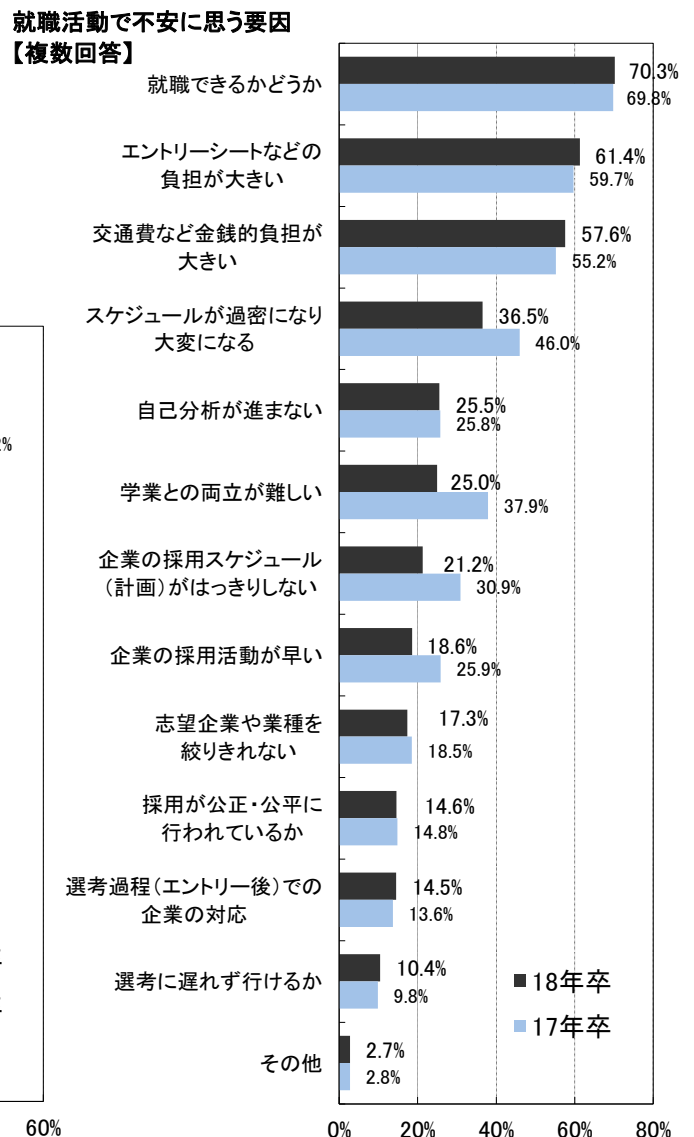
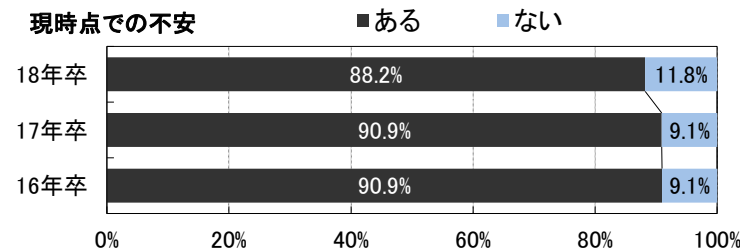
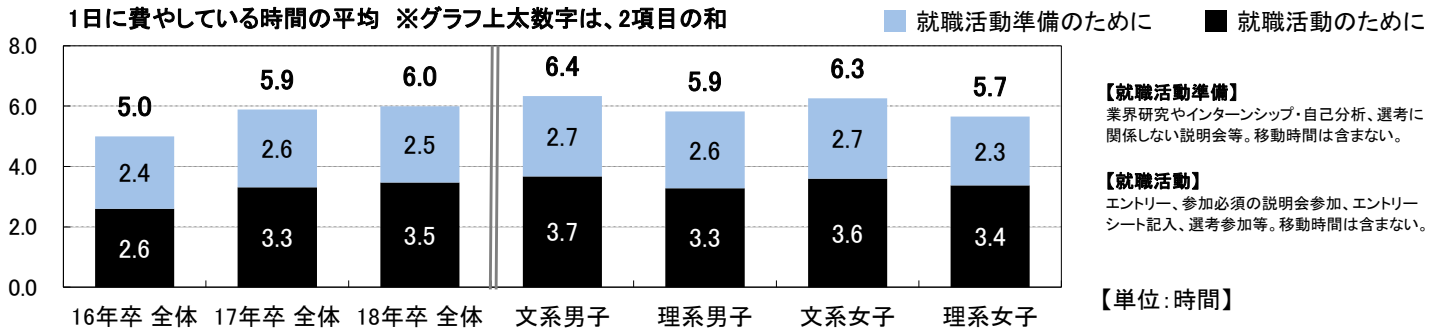
厳しくなると思う理由【複数回答】(n=297)



1日のうち、就職活動に割いている時間は、「就活準備」の時間が前年よりわずかに減って2.5時間(前年比0.1pt減)、「就職活動」の時間がわずかに増えて3.5時間(前年比0.2pt増)となった。移動時間以外に、1日に6時間程度を就職活動とその準備に費やしており、前々年と比べると1時間多く費やしている。

現時点での不安については、88.2%が「ある」と回答し、前年よりやや減った(前年比2.7pt減)。不安に思う要因としては、「就職できるかどうか」が前年比0.5pt増の70.3%で前年同様最も高い。前年と比べて大きく変化したのは「学業との両立が難しい(25.0%、前年比13.0pt減)」「スケジュールが過密になり大変になる(36.5%、前年比9.5pt減)」「企業の採用スケジュール(計画)がはっきりしない(21.2%、前年比9.7pt減)」で、それぞれ大きく減少した。前年と同じ採用スケジュールとなったことで、それに関連する不安は減ったようだ。

この時期最も注力している就職活動の内容では、エントリーシート対策がわずかに減少し(47.2%、前年比2.0pt減)、面接対策がわずかに増加した(18.6%、前年比1.9pt増)。

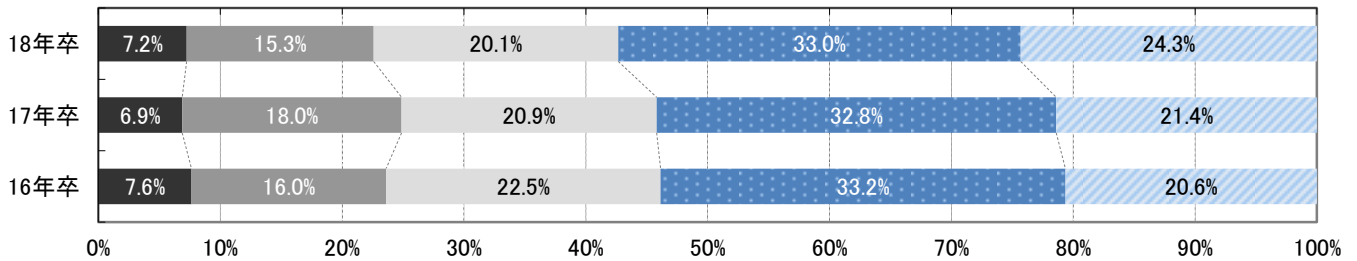


■4:企業選択のポイント

現在の活動が大手企業中心か中小企業中心か、5段階で聞いた結果を前年同月と比較すると「大手企業中心(+どちらかといえば)」に活動している」が3.1pt増の57.3%に達し、「中小企業中心(+どちらかといえば)」の22.5%（前年比2.4pt減）を大きく上回った。「企業を選ぶときに特に注目するポイント（ベスト3まで）」では、前年3月と同じく「社内の人間関係がよい」が最も高い割合で、2位には前年4位から上昇した「企業経営が安定している」が続いた。3位には前年2位の「福利厚生制度が充実している」だった。前年より順位を上げた選択肢としては「企業の成長性が見込める」（前年7位 → 今年5位）、「給与や賞与が高い」（前年9位 → 今年6位）がある。

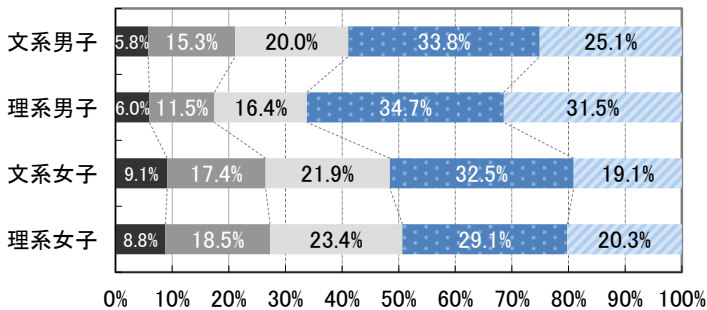
現在の活動は 中小企業中心 ← 5段階 → 大手企業中心

■ 中小企業中心 ■ どちらかといえば中小企業中心 □ どちらともいえない ■ どちらかといえば大手企業中心 ■ 大手企業中心



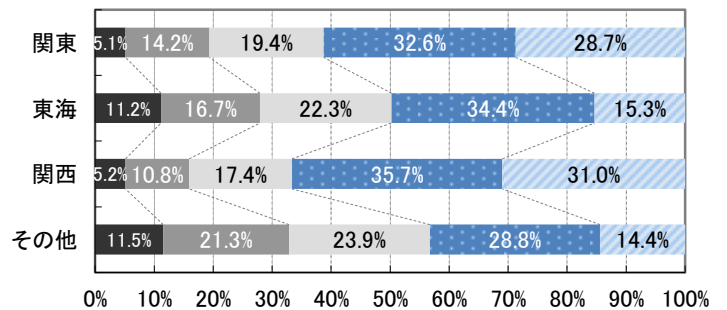
《文理男女別》

中小企業中心 ← 5段階 → 大手企業中心



《エリア別》

中小企業中心 ← 5段階 → 大手企業中心



企業を選ぶときに、あなたが特に注目するポイント

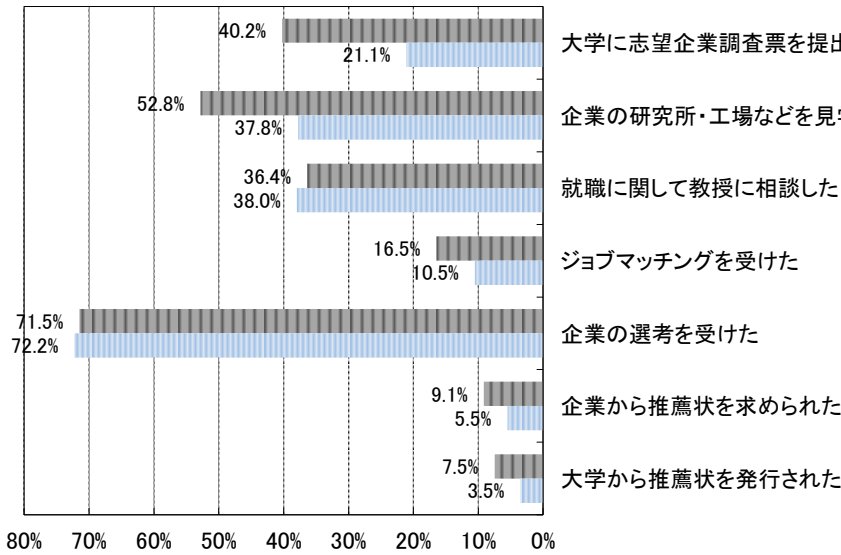
注目ポイント	順位	前年順位	ベスト3まで選択					最も注目するポイント		
			全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子	順位	全体	前年順位
			2,182	450	550	570	612	2,182		
社員の人間関係が良い	1	1	41.1%	36.9%	32.4%	50.7%	45.8%	1	15.4%	2
企業経営が安定している	2	4	35.0%	35.8%	38.2%	33.7%	29.4%	2	14.4%	1
福利厚生制度が充実している	3	2	30.8%	26.9%	24.2%	38.2%	36.1%	5	8.8%	6
自分が成長できる環境がある	4	3	29.3%	30.7%	29.3%	28.2%	28.9%	3	11.0%	3
企業の成長性が見込める	5	7	21.4%	26.4%	24.2%	15.3%	18.3%	6	6.9%	7
給与や賞与が高い	6	9	20.9%	27.8%	24.5%	12.3%	17.3%	10	3.5%	11
希望する勤務地で働ける	7	5	19.9%	14.9%	17.1%	24.0%	27.5%	7	6.5%	4
経営理念・企業理念に共感できる	8	6	19.6%	22.7%	15.6%	19.1%	21.1%	4	8.8%	5
社会貢献度が高い	9	8	15.5%	17.3%	16.5%	14.4%	11.4%	8	5.2%	9
業界上位である	10	11	12.2%	14.4%	17.5%	7.7%	6.9%	9	4.7%	10
技術力がある	11	10	11.4%	4.9%	28.5%	2.5%	13.6%	11	3.5%	8
社員が親身に対応してくれる	12	12	8.8%	7.8%	7.3%	11.6%	7.7%	12	2.2%	14
仕事を任せてもらえる	13	14	8.1%	10.2%	7.3%	7.9%	5.1%	14	1.8%	13
国際的な仕事ができる	14	13	5.7%	5.8%	4.5%	7.4%	3.4%	13	1.8%	12
平均勤続年数が高い	15	18	5.0%	5.6%	4.2%	4.7%	6.0%	15	1.3%	19
社員の話に説得力があった	16	16	4.5%	4.9%	4.0%	4.9%	3.8%	17	1.2%	18
女性が活躍している	17	15	4.4%	0.4%	0.0%	9.8%	10.1%	19	0.8%	16
職種別採用がある	18	19	3.3%	2.2%	2.7%	4.6%	4.1%	18	1.0%	17
商品企画力がある	19	17	3.3%	4.4%	2.0%	3.0%	3.6%	16	1.2%	15

■5:【理系】3月の活動状況

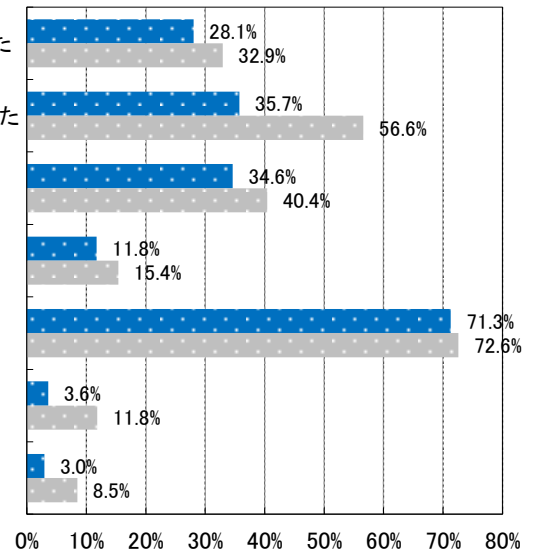
理系学生の3月の活動状況では、理系男子、理系女子、理系学部生、理系院生、それぞれの7割以上が、「企業の選考を受けた」と回答した。前年同月と比較すると、特に学部生の割合が前年比7.9pt増と比較的大きく増加している。また、理系男子と理系院生の半数以上が企業の研究所・工場などを見学したと回答している。推薦状については、企業から求められた割合も大学から発行された割合もまだ高くない状況だ。

企業への応募方法については、自由応募のみが65.4%（前年比0.7pt増）、自由応募・教授推薦の併願で20.8%（前年比0.3pt減）で、前年同月とほぼ変わらない割合だった。

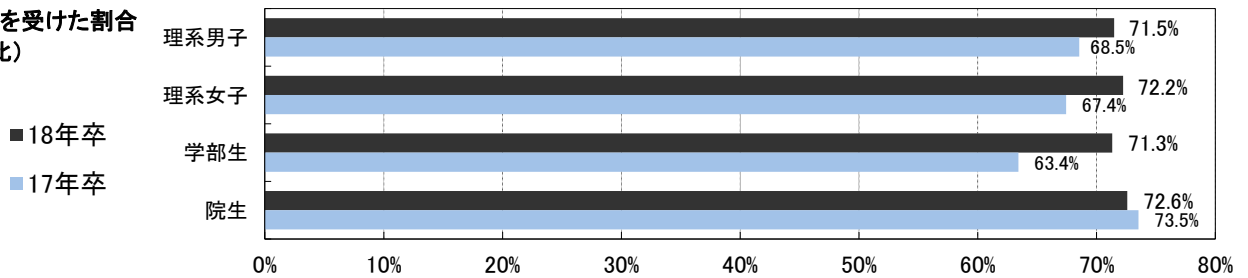
3月理系学生の活動状況【複数回答】



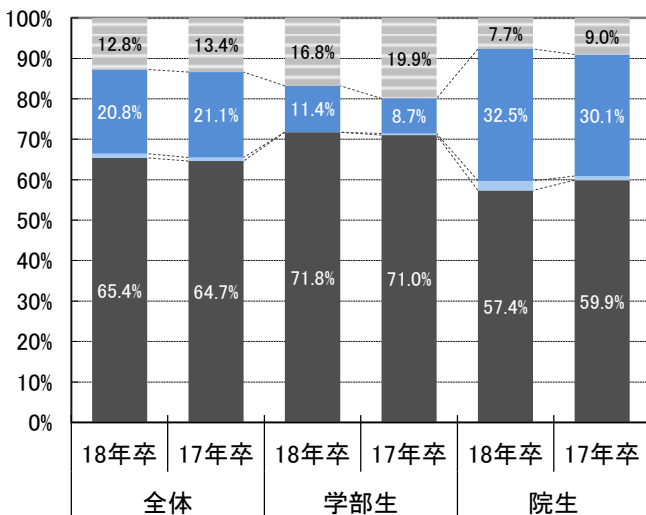
<学部生/院生別>



企業の選考を受けた割合 (前年同月比)

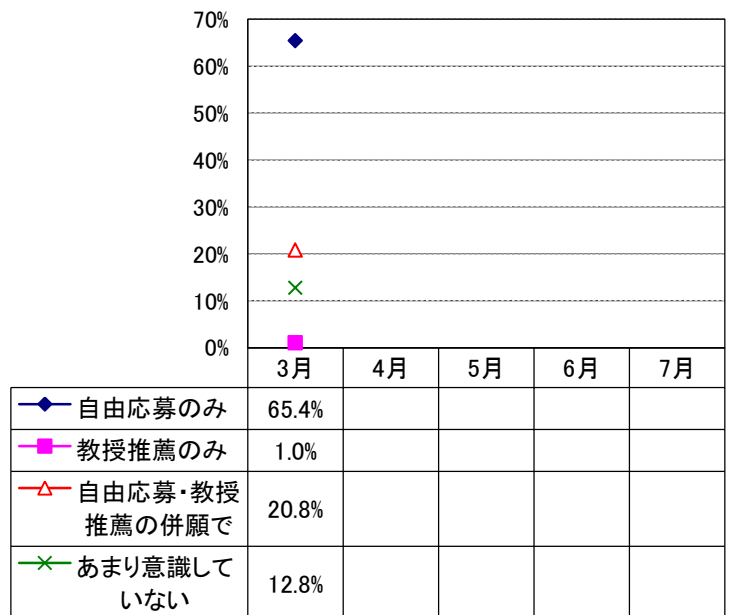


企業への応募方法(3月)



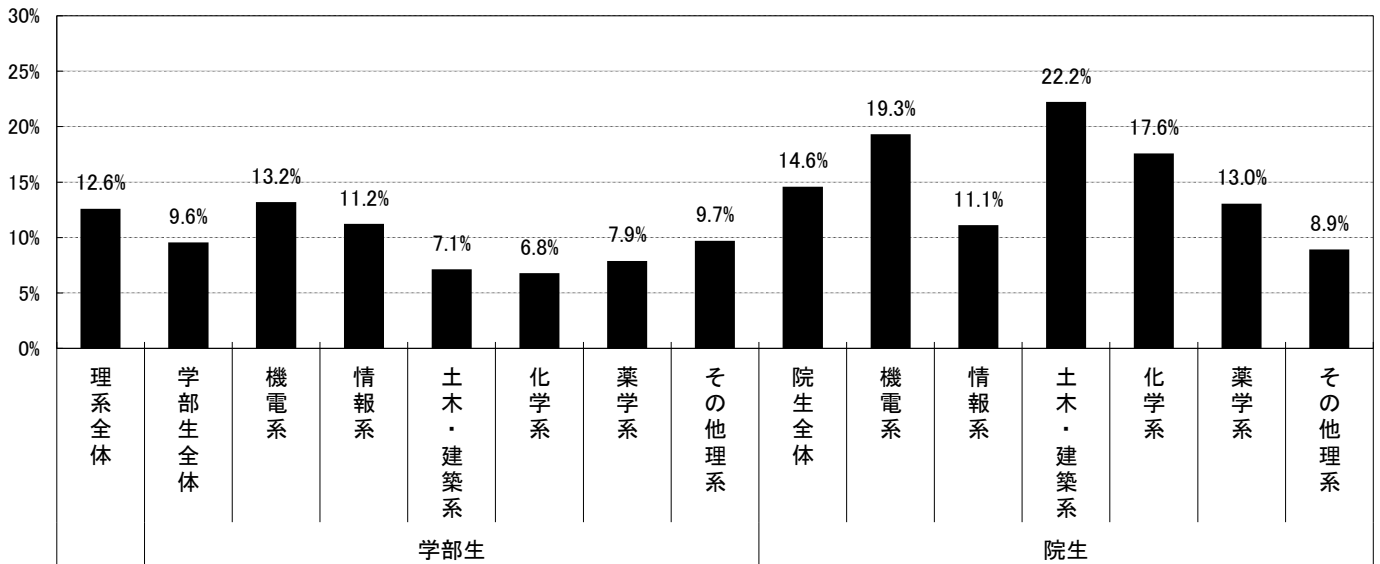
あまり意識していない
 自由応募・教授推薦の併願で
 教授推薦のみ
 自由応募のみ

企業への応募方法(3月~)



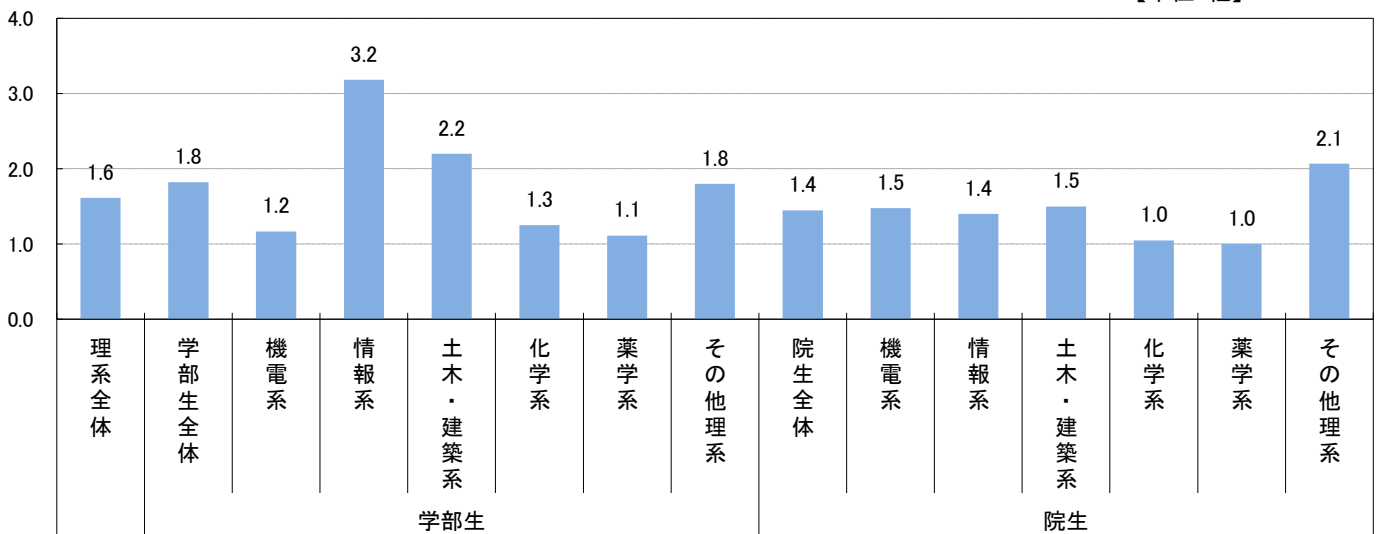
これまでにジョブマッチングを受けた経験がある割合は、理系全体は12.6%だった。学部生（9.6%）よりも院生（14.6%）の方が、専門性が高い分、ジョブマッチングを受けた割合が高くなっている。学科系統別では、土木・建築系の院生が22.2%で最も高く、ついで機電系の院生が19.3%、化学系の院生が17.6%となっている。ジョブマッチングを受けた学生に何社受けたか聞いたところ、理系全体の平均は1.6社で、学科系統別で最も高かったのは情報系の学部生の3.2社だった。

これまでにジョブマッチングを受けた経験がある割合



ジョブマッチング経験者の受けた社数平均

【単位:社】



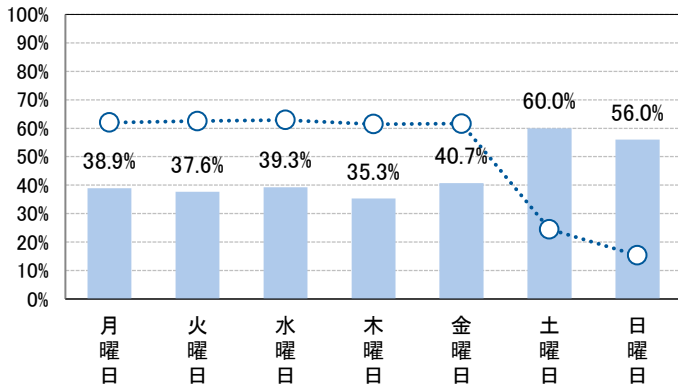
理系の学生に個別企業セミナーに参加しやすい曜日と研究室に行く曜日を聞いた。月～金の平日は学部生の5割弱、院生の8割強が研究室に行き、セミナーに参加しやすいという回答は学部生で35%前後、院生で4割強だった。土日は研究室に行く学生が学部生では1割を切り、院生では4割を切り、5割から6割の学生がセミナーに参加しやすいと回答している。なお、文系学生は月～金の方が土日より参加しやすいという割合が高かった。

理系の学生が個別企業セミナーに参加しやすい曜日と研究室に行く曜日【複数回答】

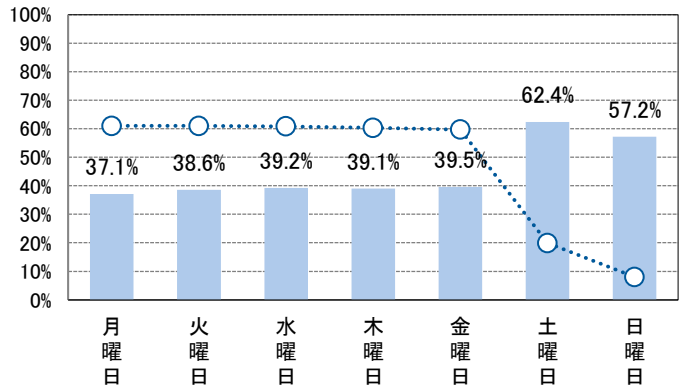
※グラフ内数字はセミナーに参加しやすいと回答した割合

■ セミナーに参加しやすい ●○●○● 研究室に行く

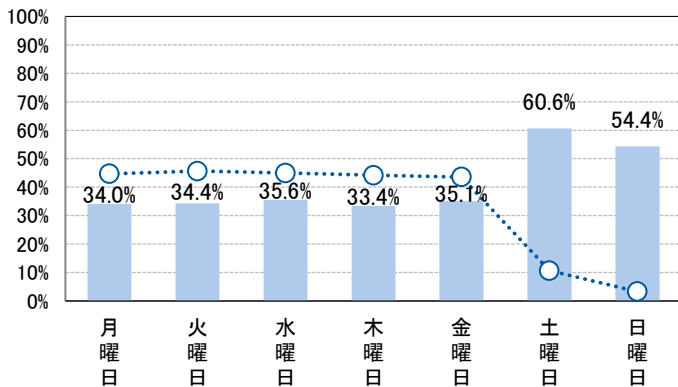
理系男子



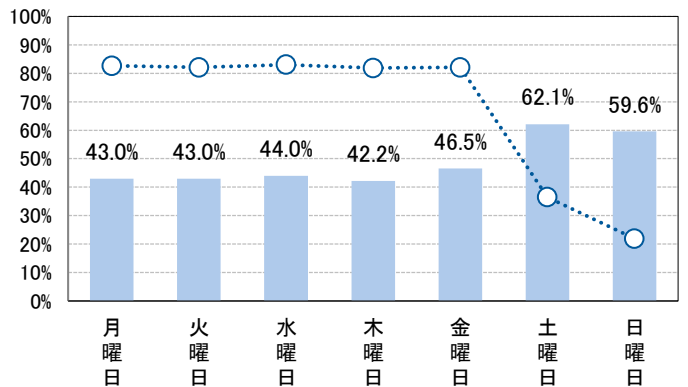
理系女子



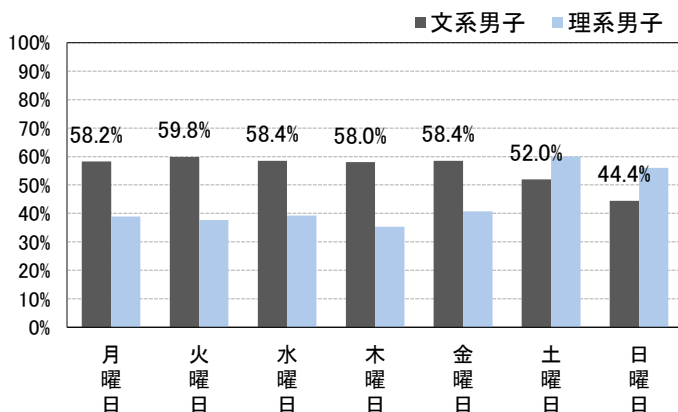
理系学部生



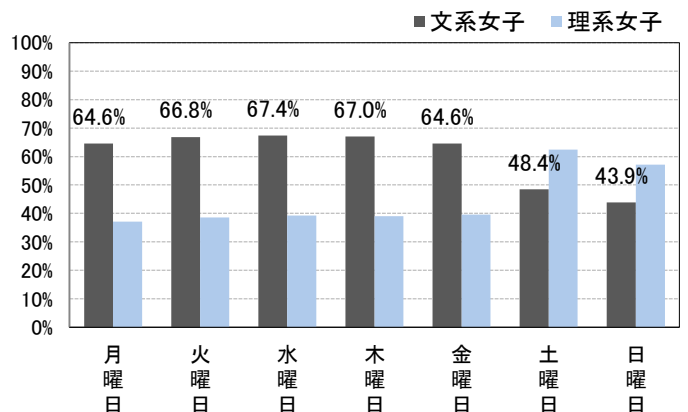
理系院生



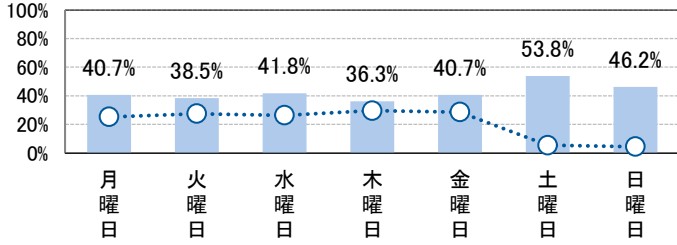
※参考) 文系男子: セミナーに参加しやすい曜日



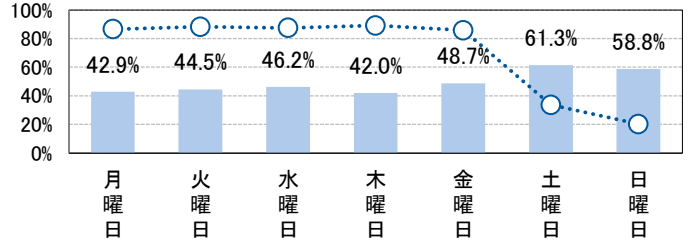
※参考) 文系女子: セミナーに参加しやすい曜日



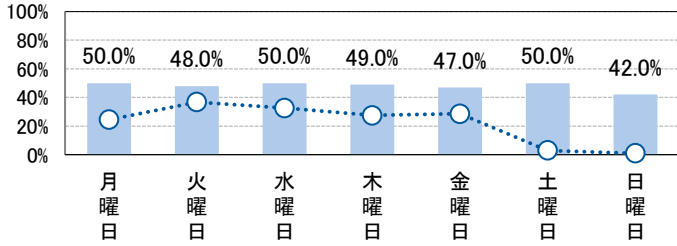
学部生・機電系



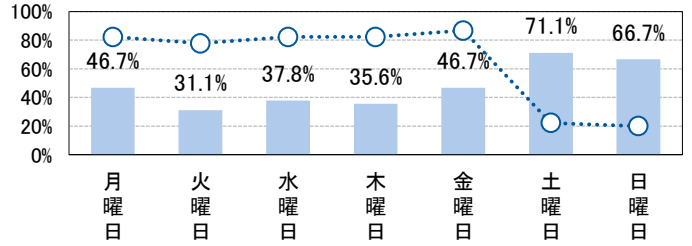
院生・機電系



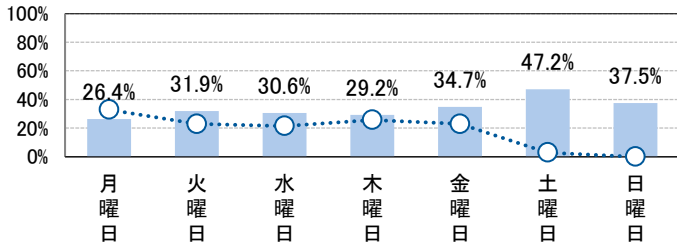
学部生・情報系



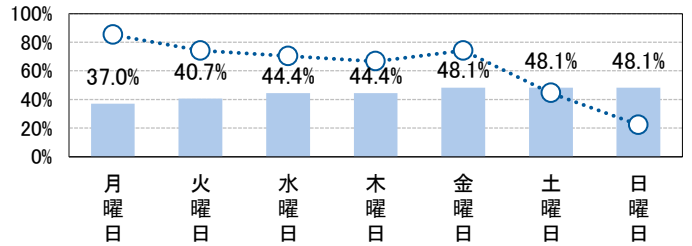
院生・情報系



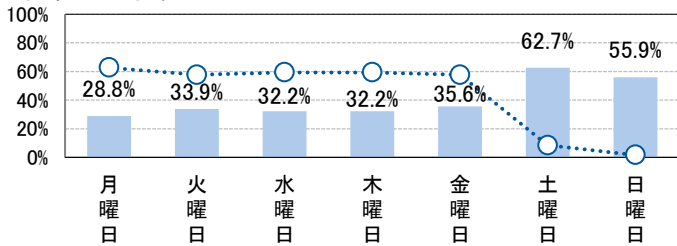
学部生・土木・建築系



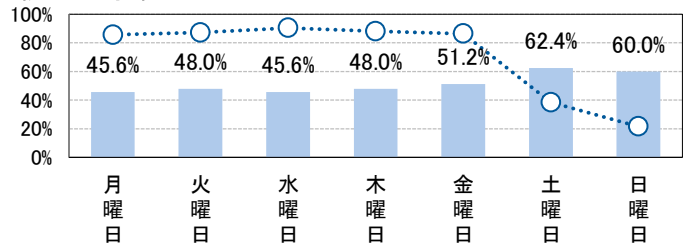
院生・土木・建築系



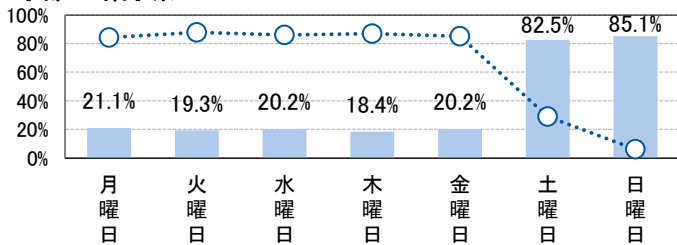
学部生・化学系



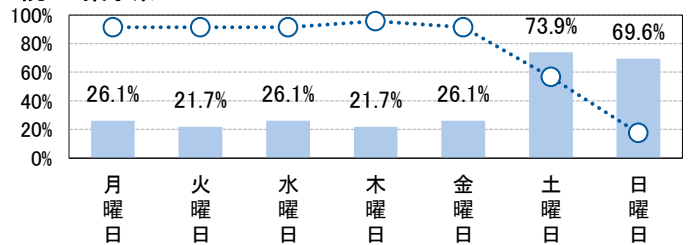
院生・化学系



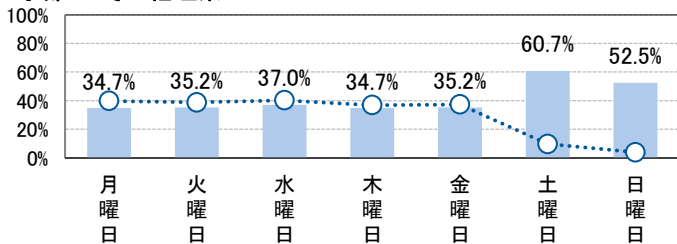
学部生・薬学系



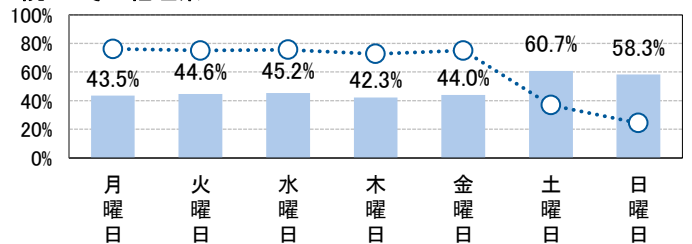
院生・薬学系



学部生・その他理系



院生・その他理系

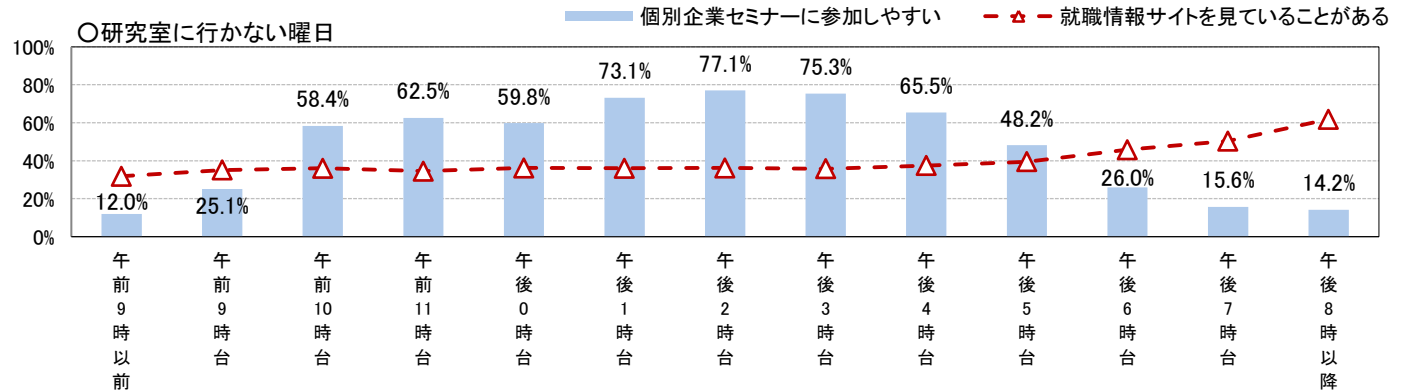
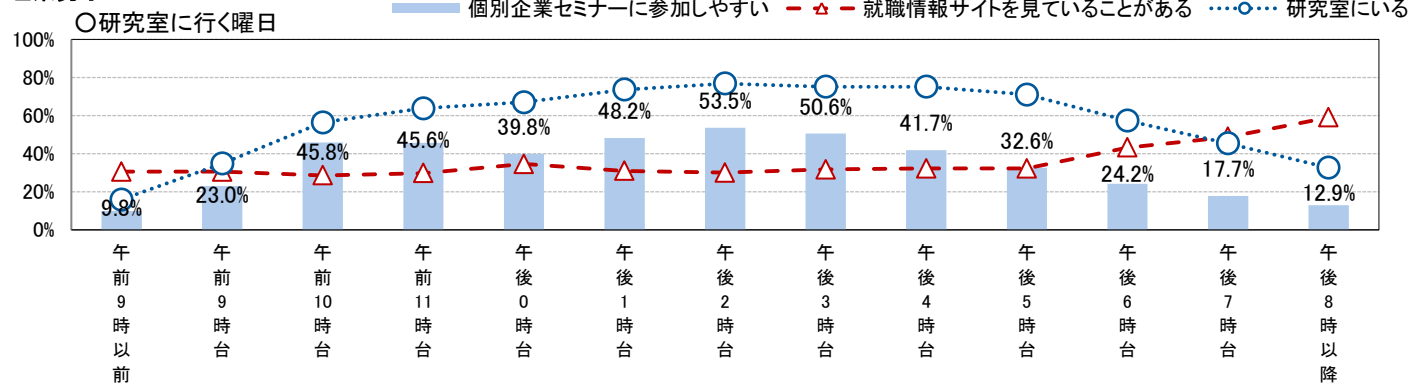


研究室に行く曜日と行かない曜日とで個別企業セミナーに参加しやすい時間帯と就職情報サイトを見ていることがある時間帯を聞いた。セミナーに参加しやすいと回答した割合が高いのは、午後1時台から午後3時台で、研究室に行く曜日より行かない曜日の方が2割～3割程度高い割合となっている。就職情報サイトを見ている割合は研究室にいる時間帯より夜遅い時間帯の方が高い。

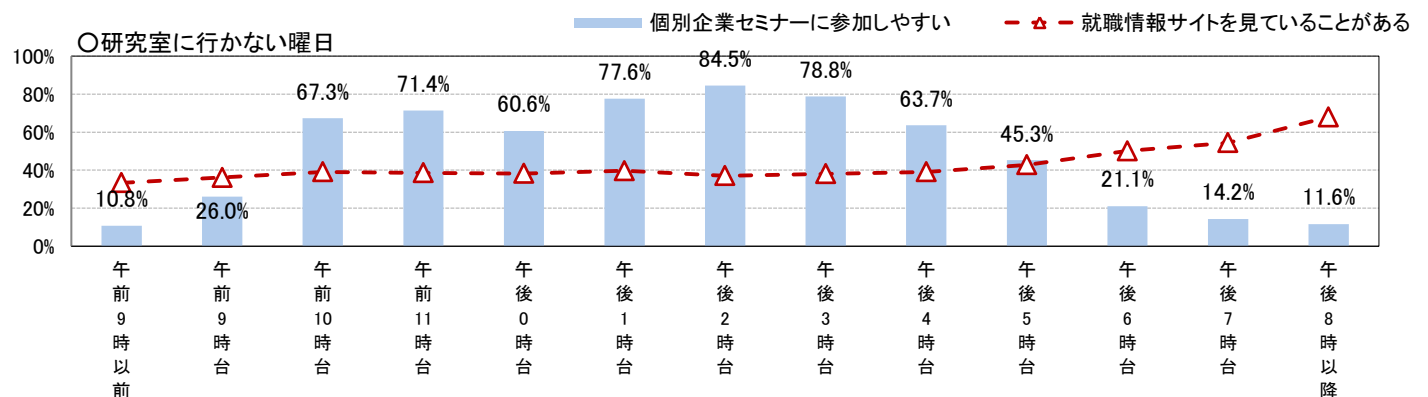
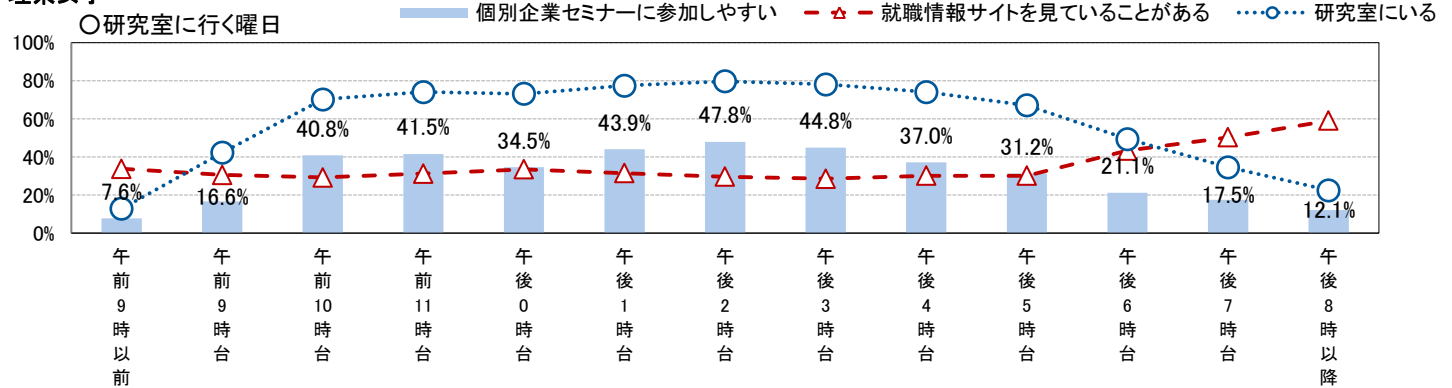
理系の学生が個別企業セミナーに参加しやすい時間帯、
就職情報サイトを見ていることがある時間帯、研究室にいる時間帯【複数回答】

※グラフ内数字はセミナーに参加しやすいと回答した割合

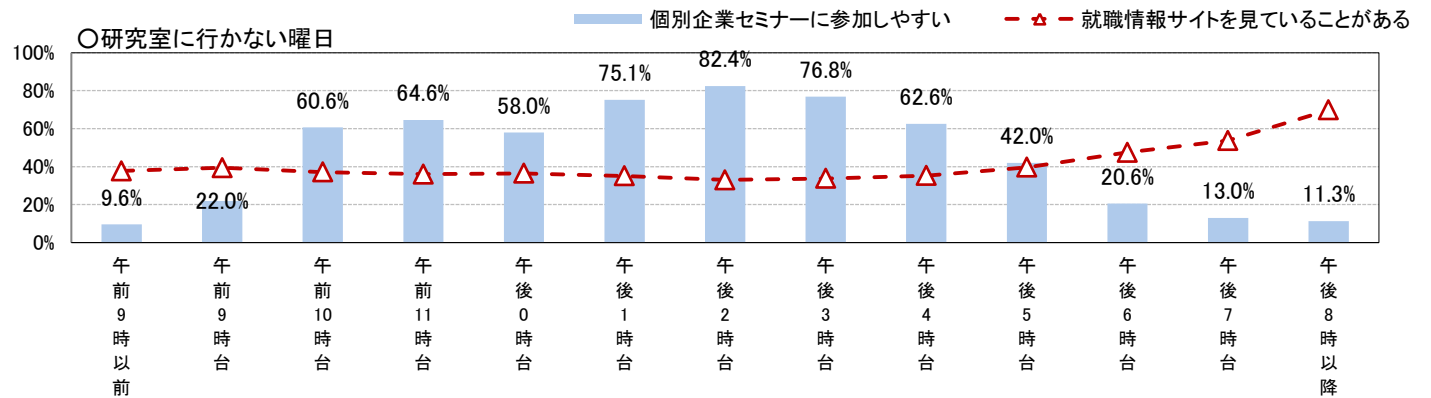
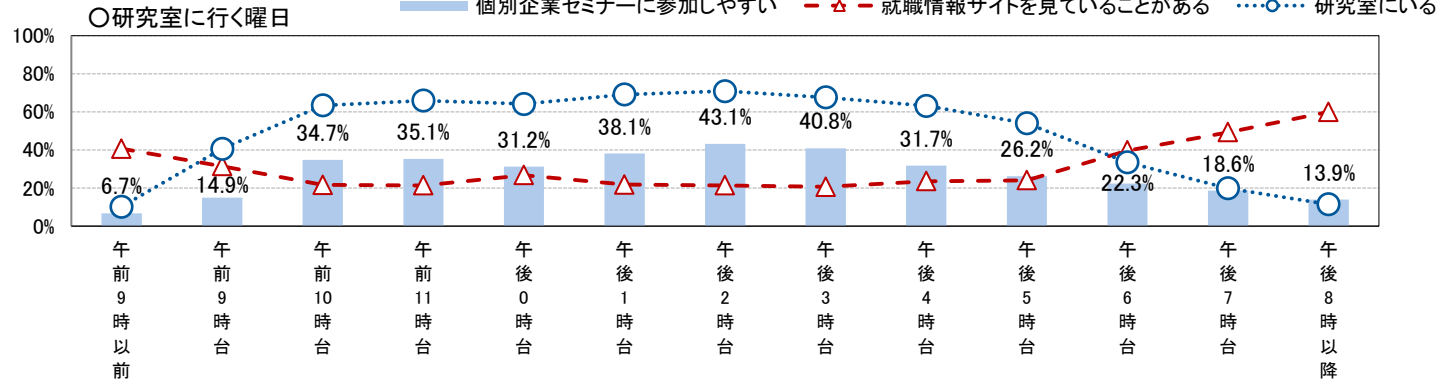
理系男子



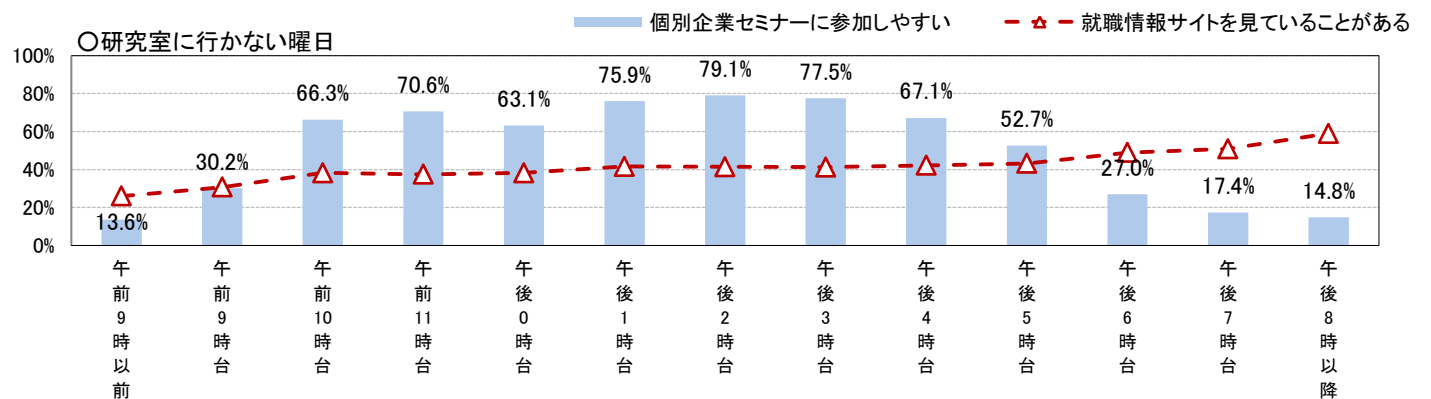
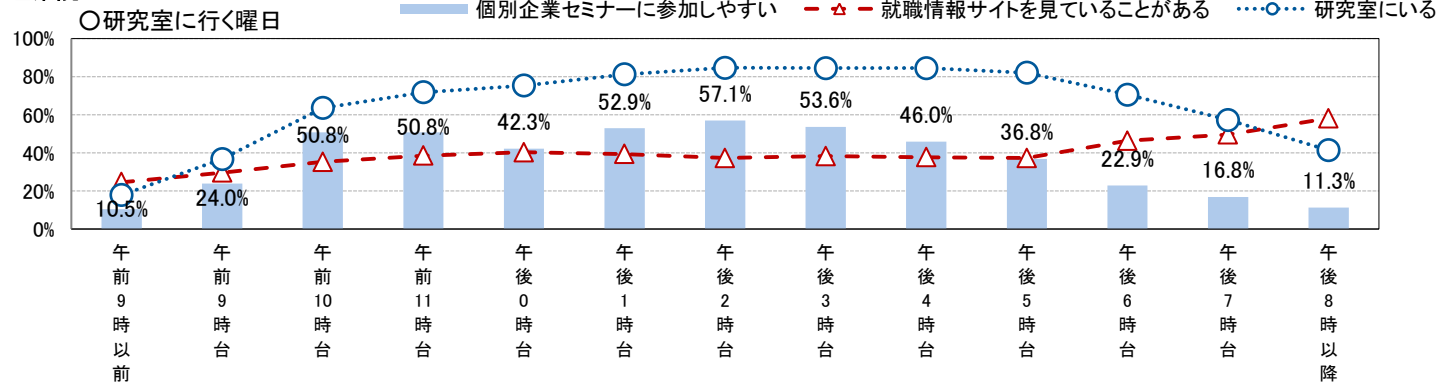
理系女子



理系学部生



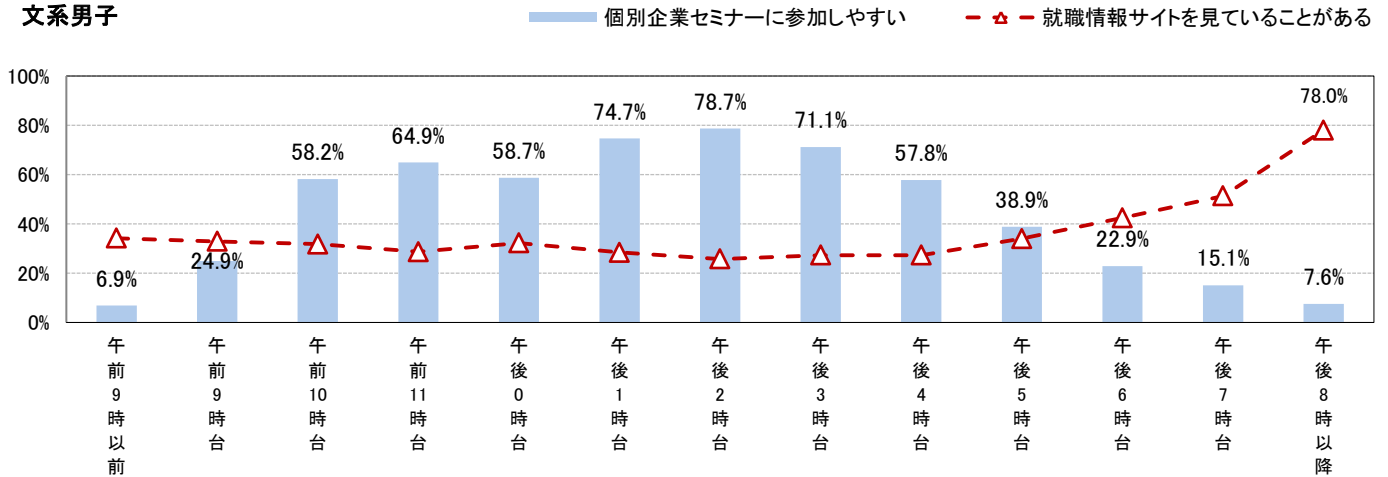
理系院生



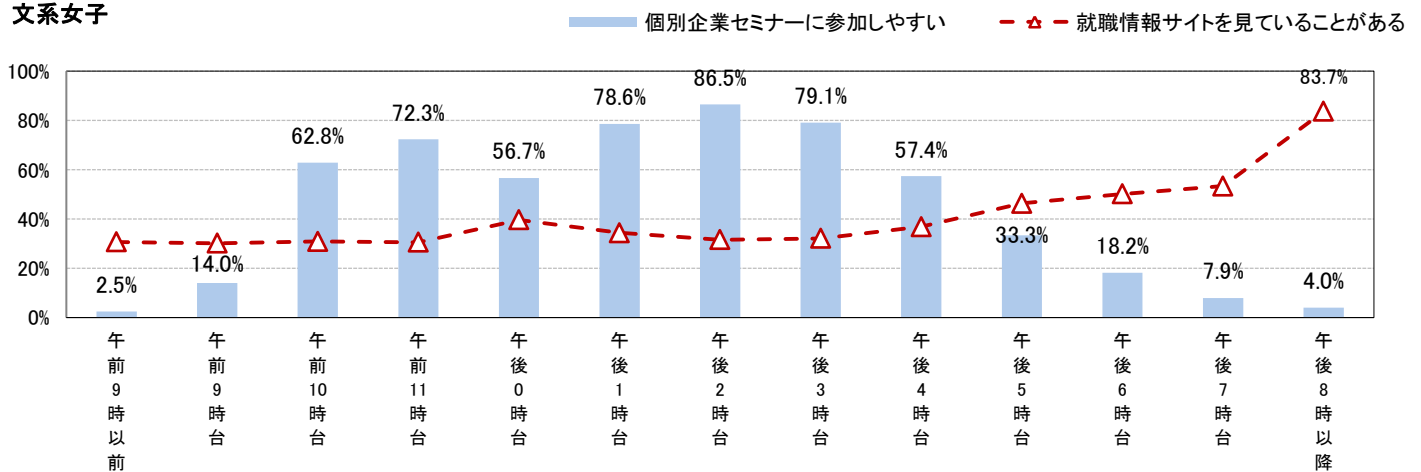
※参考: 文系学生の個別企業セミナーに参加しやすい時間帯と就職情報サイトを見ていることがある時間帯

文系学生にも個別企業セミナーに参加しやすい時間帯と就職情報サイトを見ていることがある時間帯を聞いた。個別企業セミナーに参加しやすい時間帯は男女とも午後2時台が最も高い割合となった。男女ともに割合が高い午後1時から3時台は女子の方が割合が高く、午前9時以前や午前9時台といった早い時間帯と、午後5時台以降の遅い時間帯は男子の方が割合が高い。就職情報サイトを見ていることがある時間帯は午後8時以降が最も高い割合となった。

文系男子



文系女子



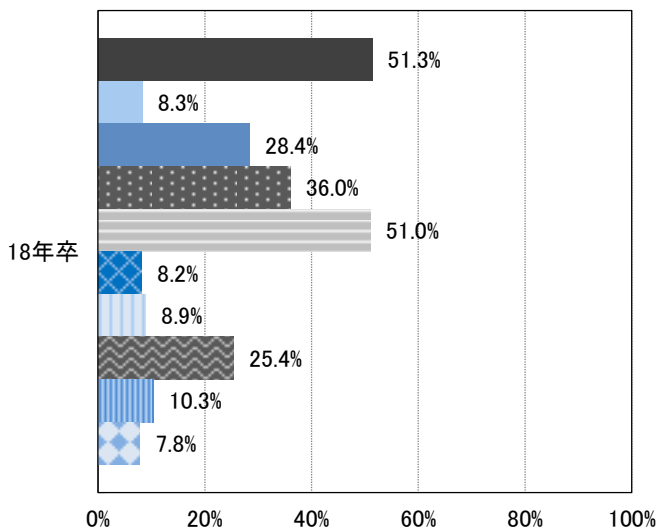
■6: 自己分析・業界研究・企業研究に用いたもの

学生が自己分析に用いたものとして最も選択されたのは、前年同様「就職情報サイト(51.3%)」だった。次に選択される割合が高かったのは「先輩や友人・知人(51.0%)」で前年より10.2pt増加した。「学校のキャリアセンター(36.0%)」も前年より12.3pt増と大きく増加した。業界研究に用いたものは、選択割合が高いものから「就職情報サイト(70.1%)」「合同企業説明会(66.8%)」「企業のホームページ(53.8%)」だった。また半数弱の学生が「インターンシップ(46.7%)」と回答した。企業研究に用いたものは、「企業のホームページ(84.3%)」が最も高く、「個別企業セミナー(79.4%)」「就職情報サイト(68.3%)」が続いた。

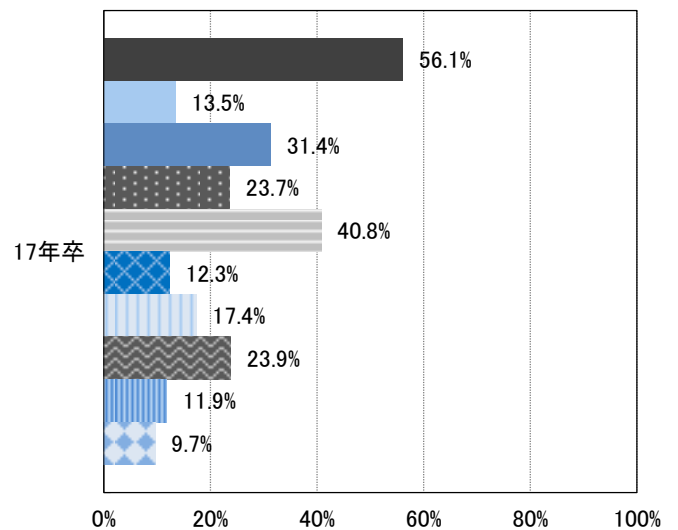
自己分析、業界研究、企業研究に用いたもの【複数回答】

- 就職情報サイト
- 企業のホームページ
- 就職情報誌・就職本
- 学校のキャリアセンター
- 先輩や友人・知人
- 合同企業説明会
- 個別企業セミナー
- インターンシップ
- その他
- 行っていない・用いたものは無い

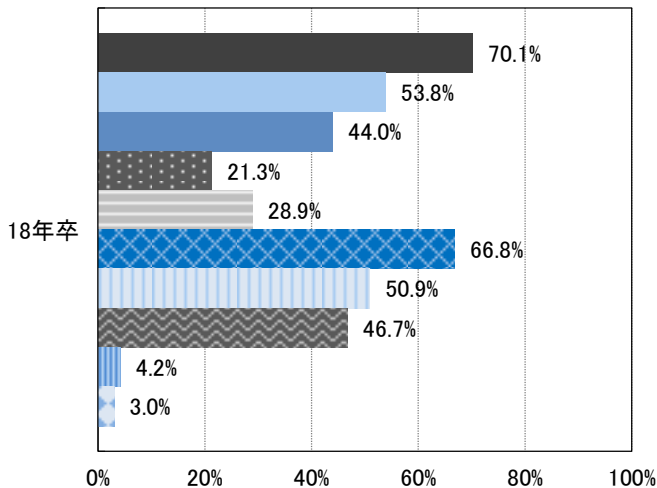
【自己分析】



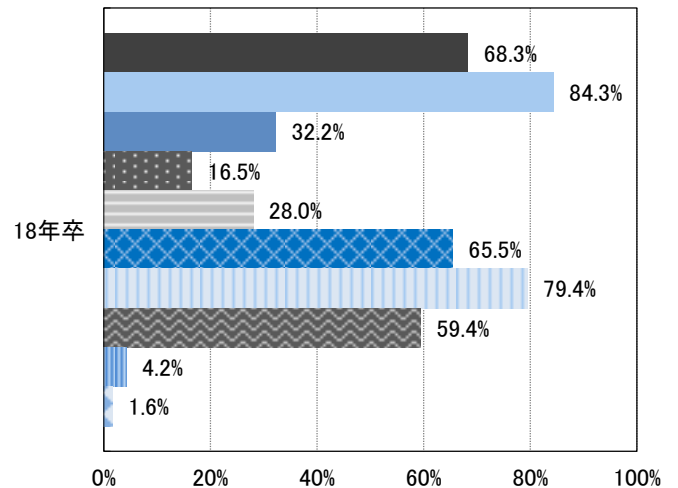
【自己分析・17年卒(参考)】



【業界研究】



【企業研究】



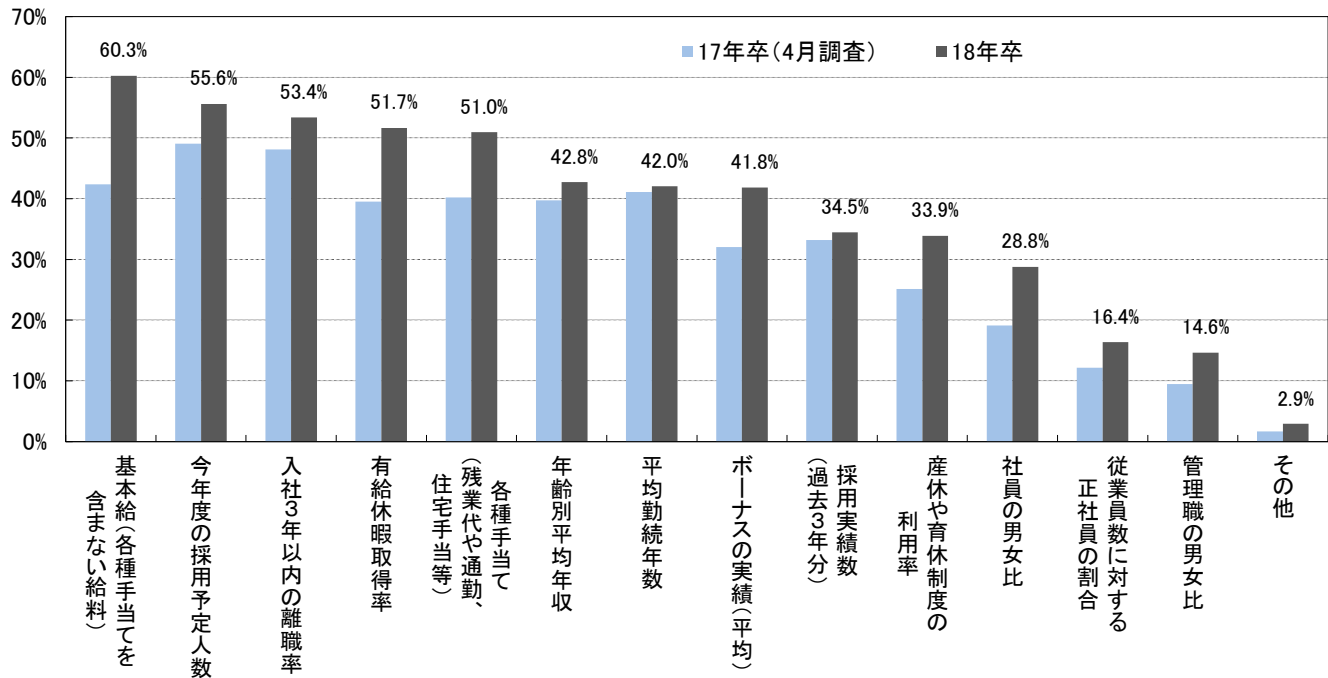
■7: 今後の就職活動について

企業に公開して欲しいデータの上位は「基本給（各種手当を含まない給料）」「今年度の採用予定人数」「入社3年以内の離職率」、公開して欲しい情報の上位は「面接・選考のポイント」「残業・休日出勤の有無」「提出書類（履歴書、エントリーシート、成績表など）」であった。

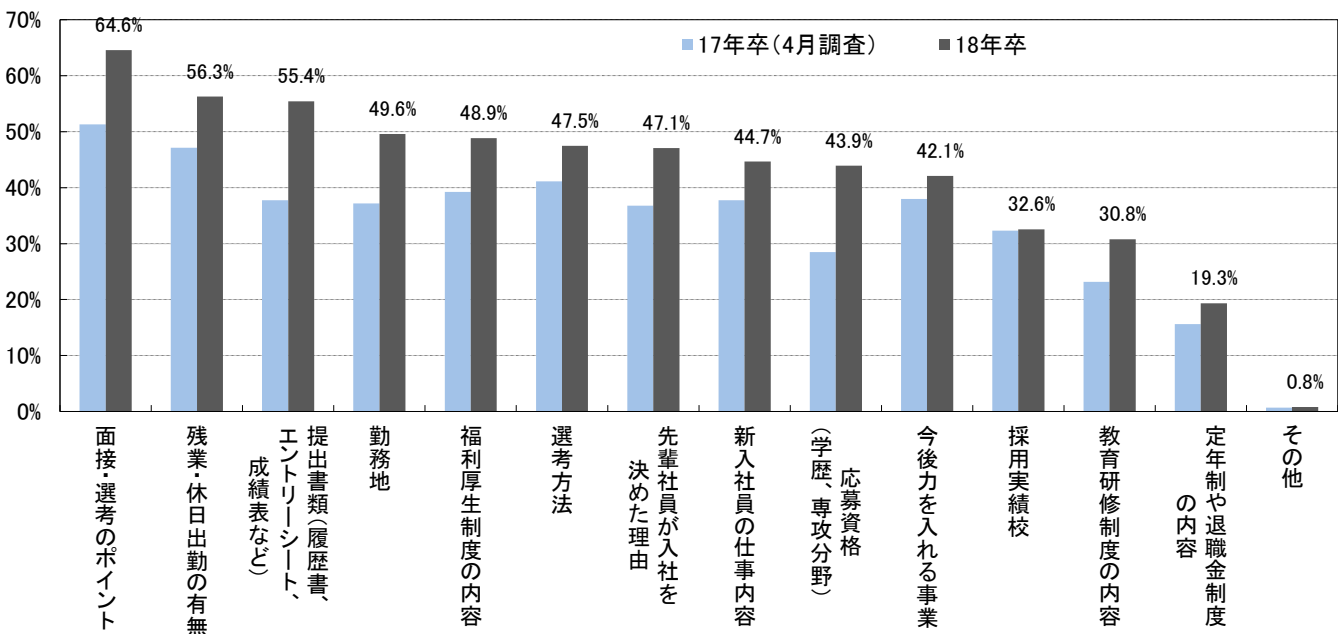
企業の情報やデータを知って志望度が下がった経験のある学生は、前年比3.3pt増の70.7%だった。志望度が下がった理由は、「労働条件が悪かった」「イメージと実際の仕事とのギャップがあった」が多く選ばれた。

今後の活動の方向性を聞いたところ、「仕事内容を重視（31.2%）」が最も多く、「業界を重視（17.5%）」「職種を重視（14.8%）」が続く。大手企業と聞いて思い浮かべる要素を3つ選択してもらったところ、最も多く選ばれたのは「企業自体の知名度（77.4%）」で、「市場シェア（42.6%）」「商品・サービス自体の知名度（41.3%）」が続いた。

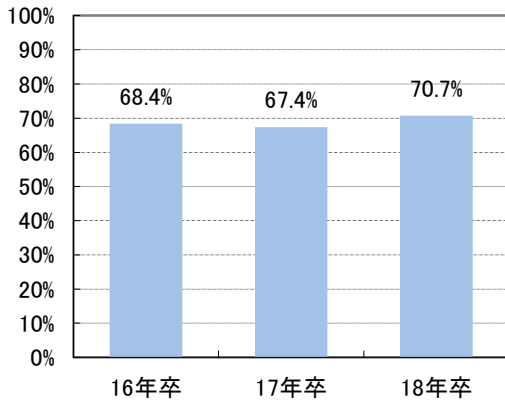
企業に公開してほしいデータ【複数回答】



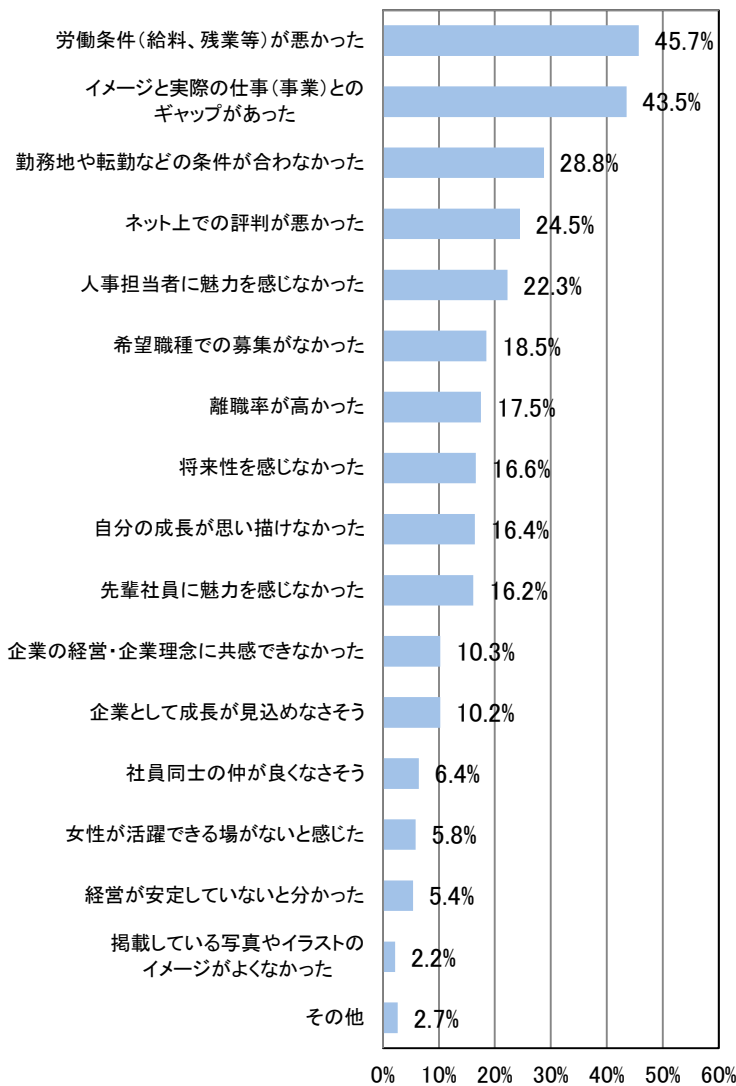
企業に公開してほしい情報【複数回答】



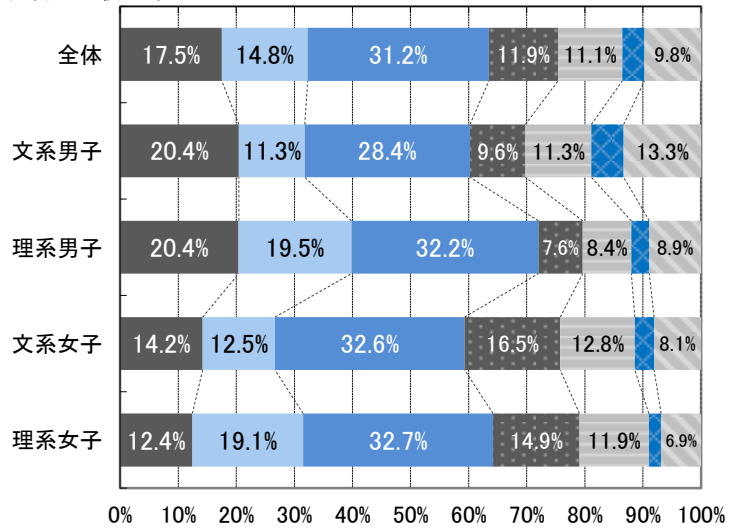
企業の情報やデータを知って
志望度が下がった経験がある割合



志望度が下がった経験のある方のみ：
志望度が下がった理由【複数回答】

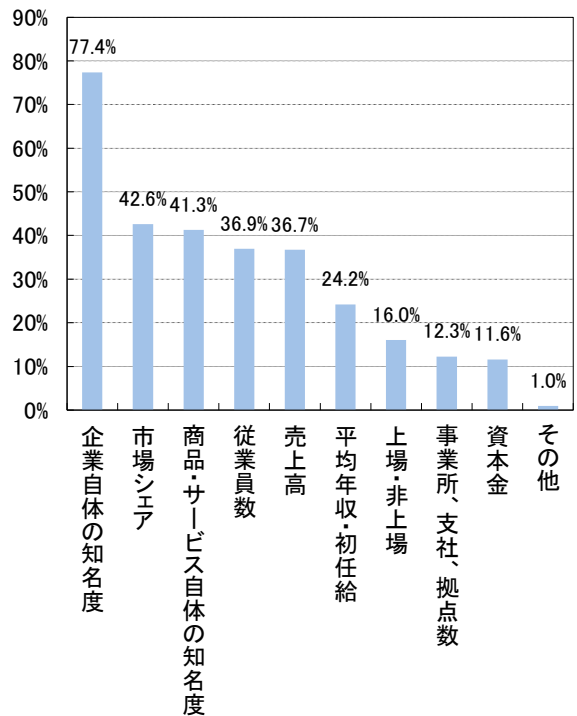


今後の就職活動の方向性について、
現時点で最もあてはまるもの



- 業界を重視
- 職種を重視
- 仕事内容を重視
- 勤務地を重視
- 社内の人間関係を重視
- 社会貢献度を重視
- 給与・福利厚生等、待遇面を重視

大手企業と聞いて、思い浮かべる要素
【3つ選択】

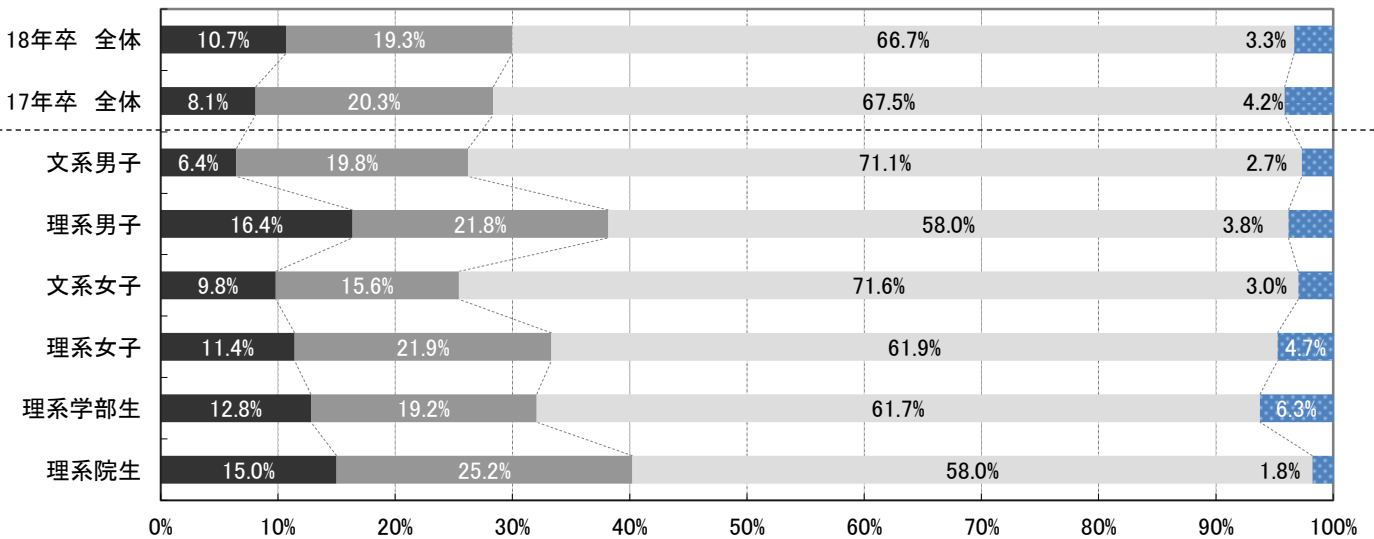


■8:エントリーについて

3月末時点でのエントリー状況について、学生に現状を聞いた。「エントリーを全て完了しており、今後エントリーの予定はない」と回答した学生は10.7%（前年比2.6pt増）とやや増えたものの、9割程度の学生が今後もエントリーを行う可能性を残しているようだ。今後、エントリーをすると思う社数は、平均6.4社だった（前年比0.5pt減）。文理男女別では文系男子のみ前年より増えている（9.4社、前年比0.5pt増）。エントリーする際の気持ちでは「選考試験を受けたい（15.8%、前年比2.2pt増）」「入社したい（9.4%、前年比2.1pt増）」が増えた。エントリーする基準では「少しでも興味が湧いた企業（37.5%、前年比3.2pt減）」が減り、「志望度の高い業界の中で幅広く（34.7%、前年比4.1pt）」が増えた。

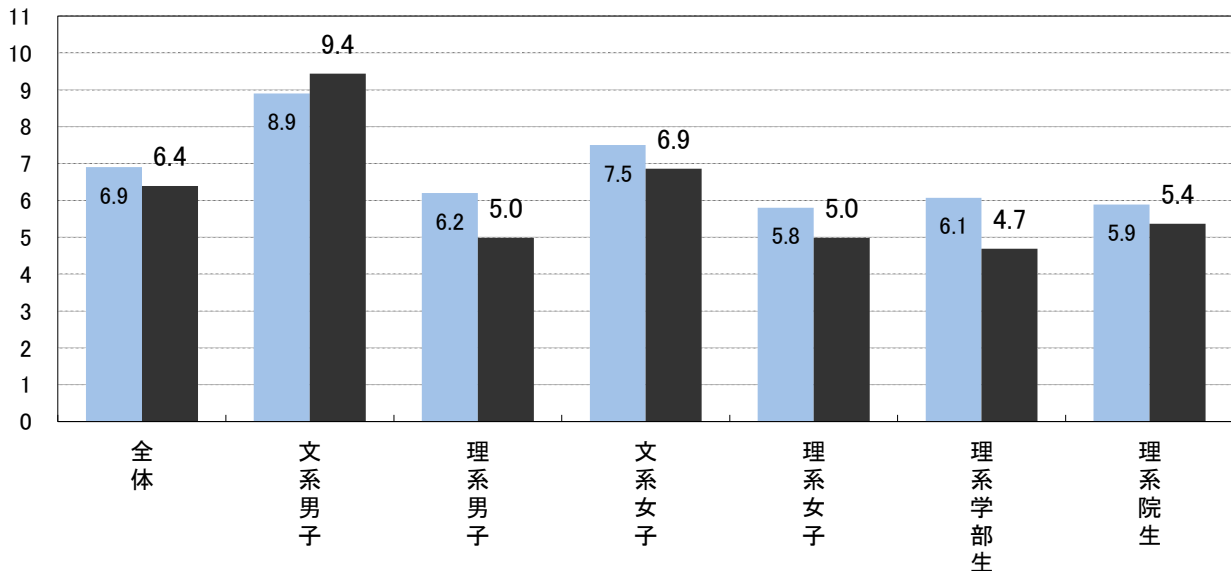
現在のエントリー状況

- エントリーを全て完了しており、今後エントリーの予定はない
- エントリーはほぼ終わり、今後エントリーする企業も全て決まっている
- 何社かエントリーしたが、今後エントリーする企業についても引き続き探している
- エントリーに関しては、まだ何も行っていない

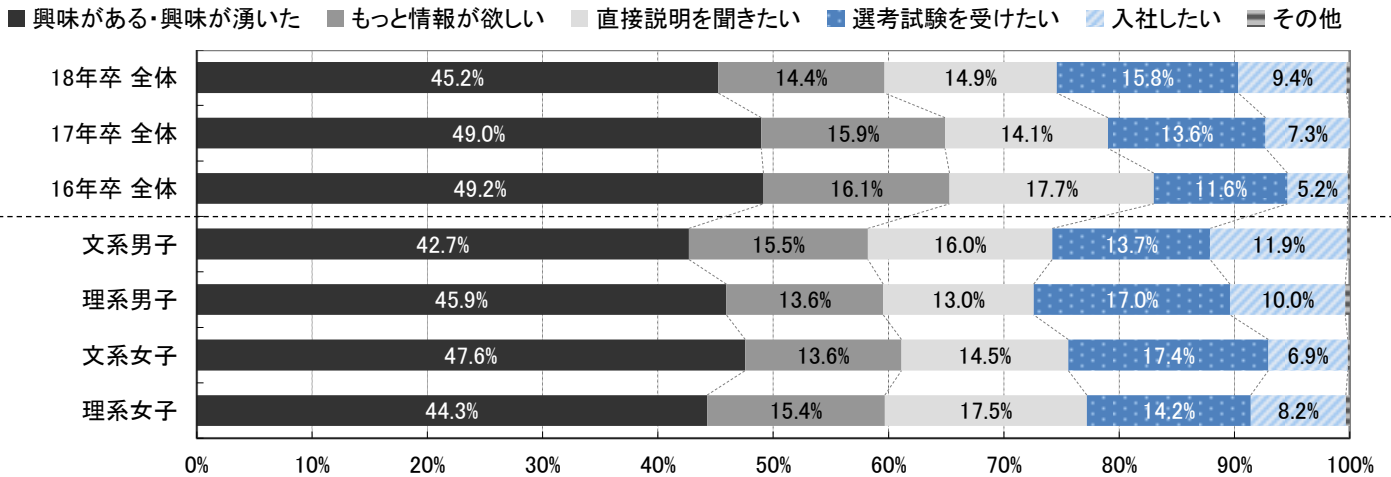


今後のエントリー想定社数平均

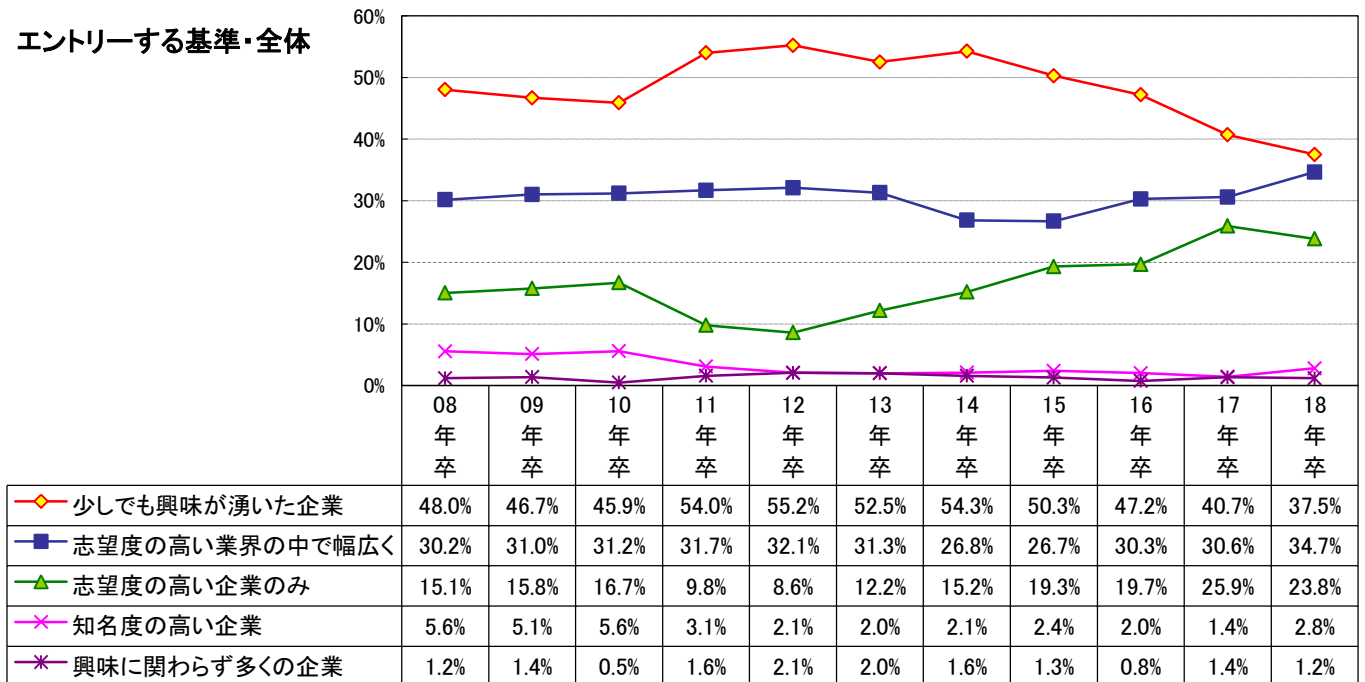
■ 17年卒 ■ 18年卒 【単位:社】



エントリーしたことのある方のみ：エントリーする際の気持ち



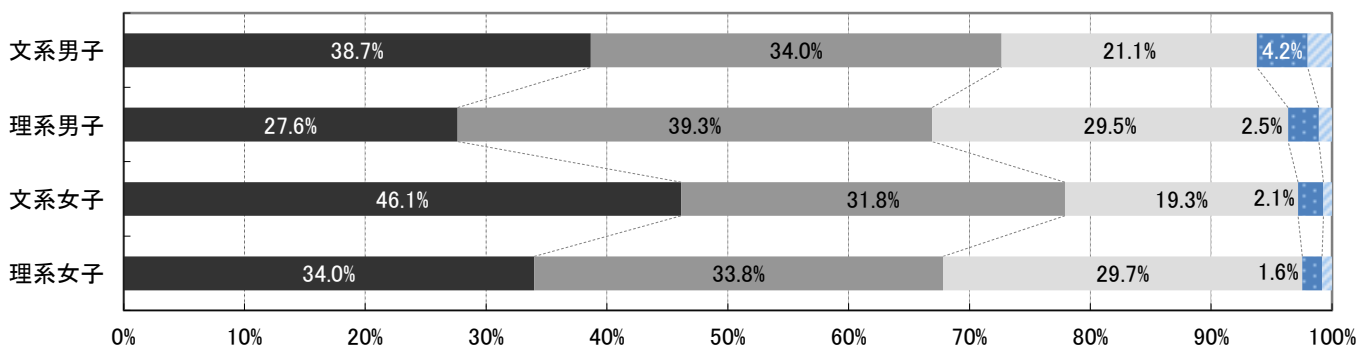
エントリーする基準・全体



※12年卒以前は全て11月に調査実施、13年卒～15年卒は12月に調査実施、16年卒は3月に調査実施
 ※13年卒以後はウエイトバック集計後の数値

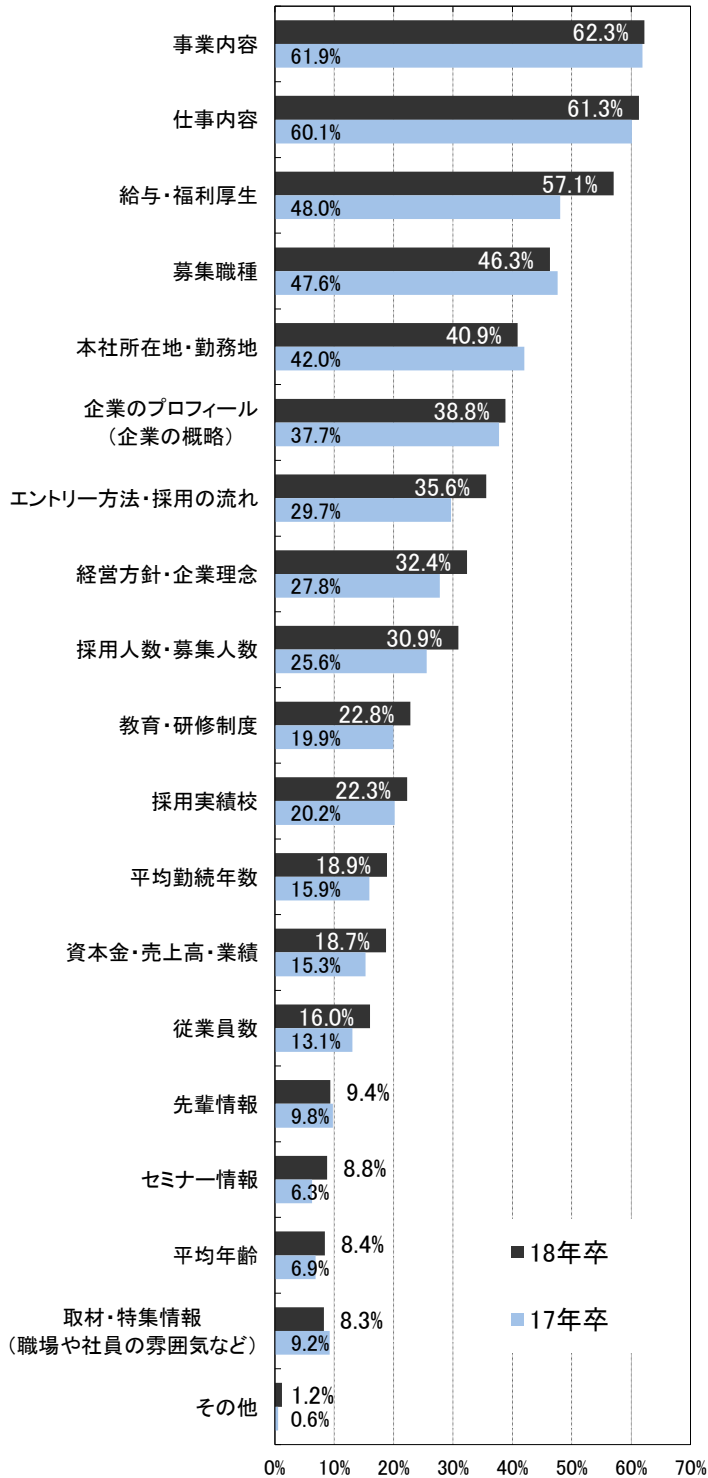
エントリーする基準・文理男女別

■少しでも興味が湧いた企業 ■ 志望度の高い業界の中で幅広く ■ 志望度の高い企業のみ ■ 知名度の高い企業 ■ 興味に関わらず多くの企業

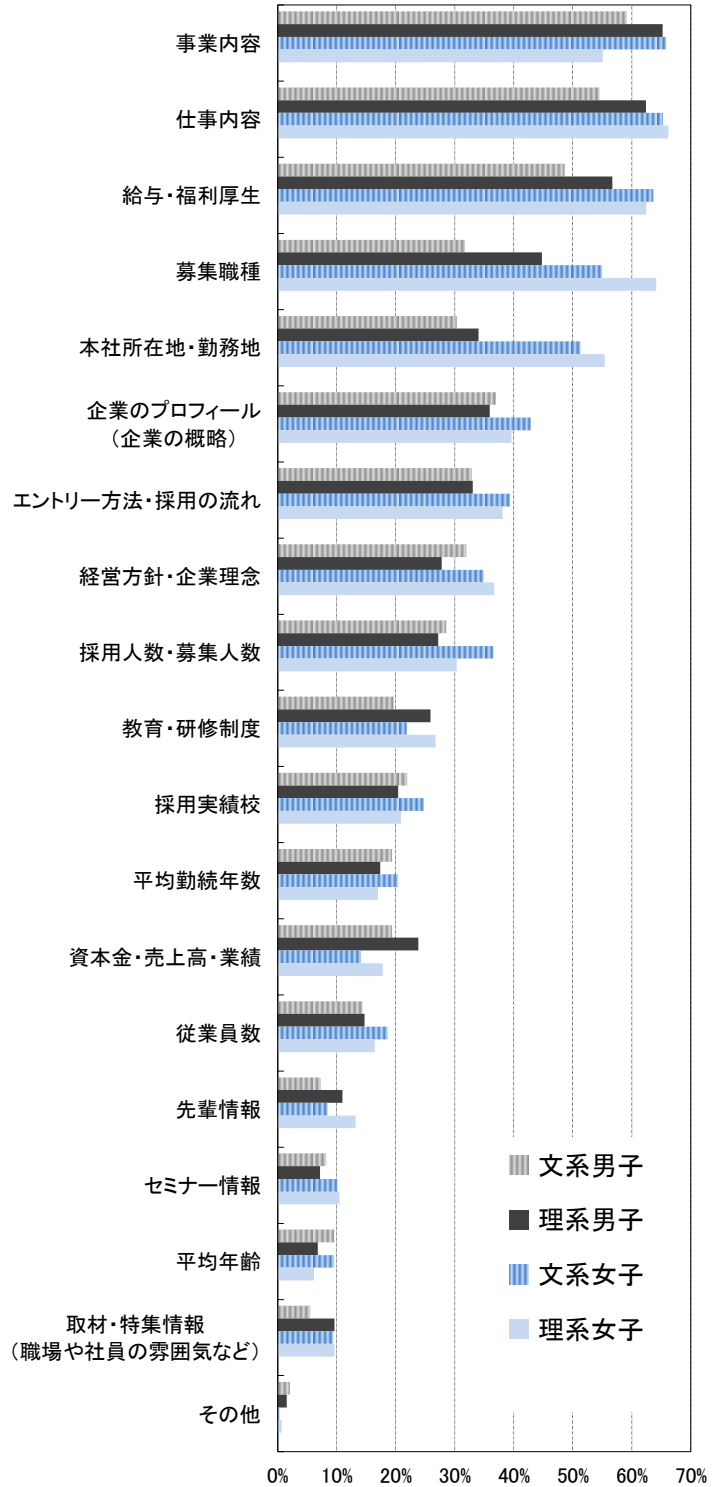


エントリーする際に見ている項目では、最も選択されたのは前年同様「事業内容」で、次も前年同様「仕事内容」だった。3番目に多かった「給与・福利厚生」は57.1%で、前年比9.1ptと大きく増加した。アンケートが付いていたことが理由でエントリーしなかったことがある学生は31.5%で、前年より4.5pt減少し、4年連続で減少している。「個別企業セミナーの予約がすぐできることは、企業へのエントリーをするかどうかに影響するか」については、大いに影響すると回答した学生が33.6%で、前年比7.2ptと大きく増加した。

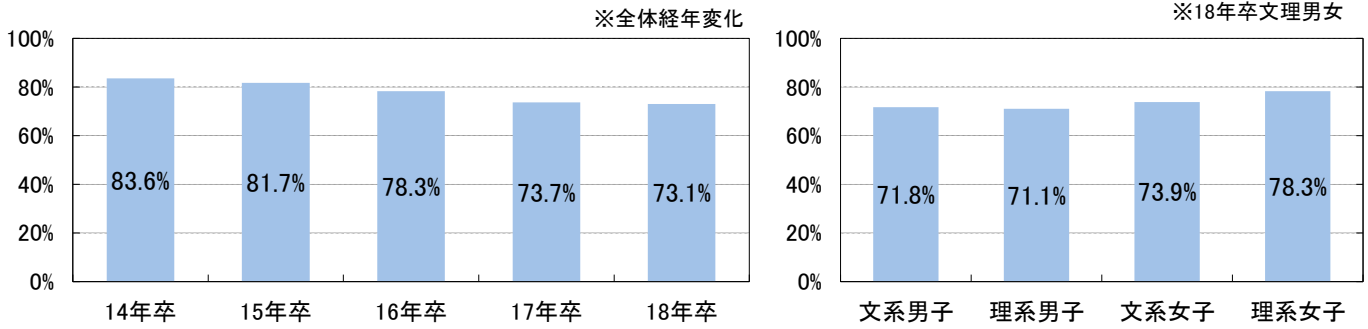
エントリーする際に見ている項目（卒年別）



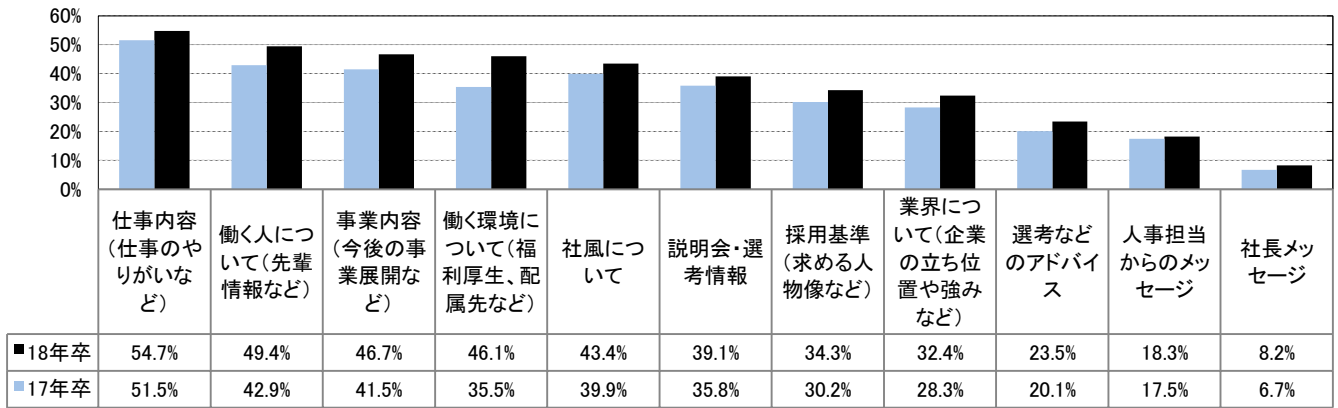
エントリーする際に見ている項目（文理男女別）



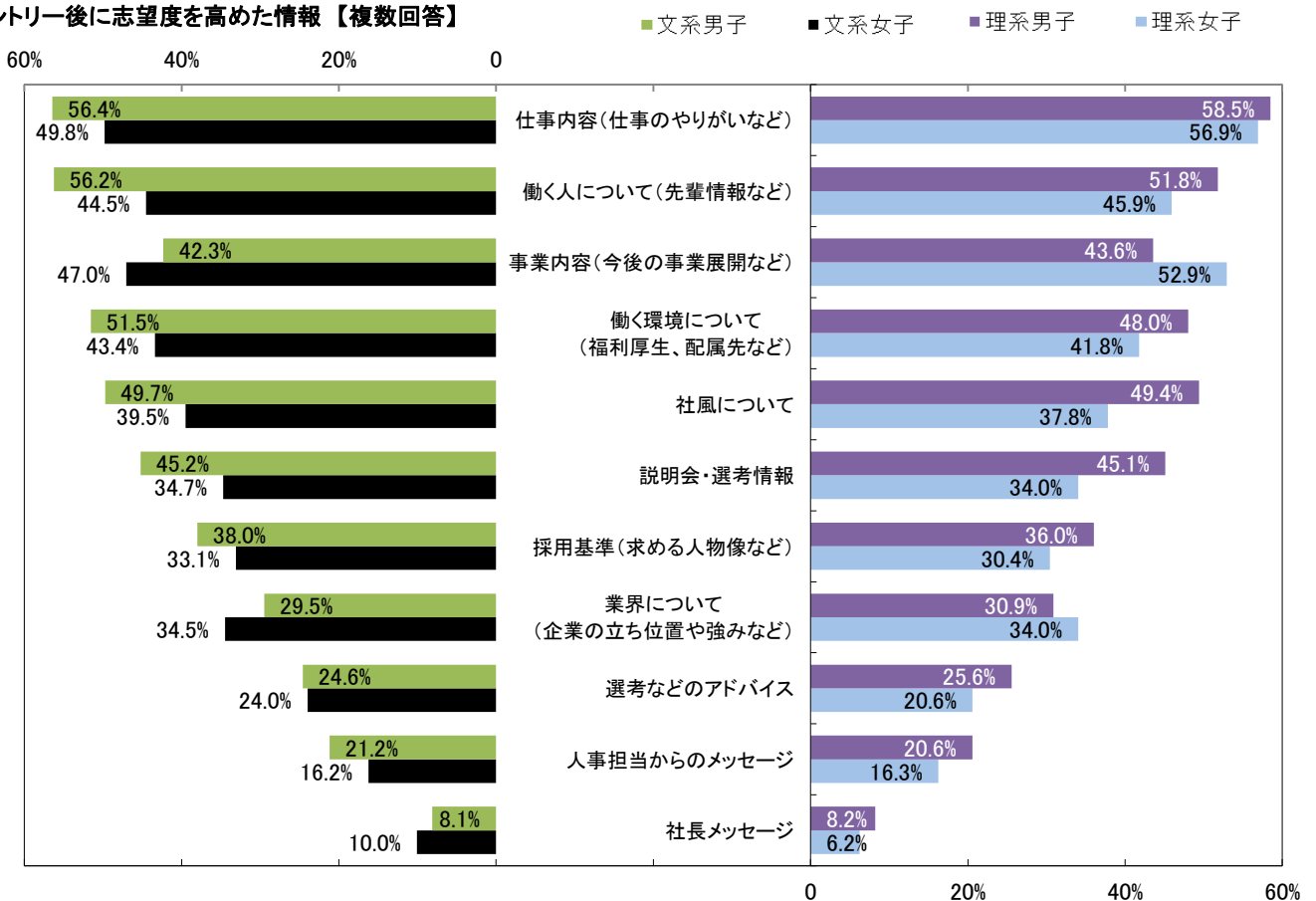
エントリーしないと見られない情報がある場合それを見るためにエントリーしたいか



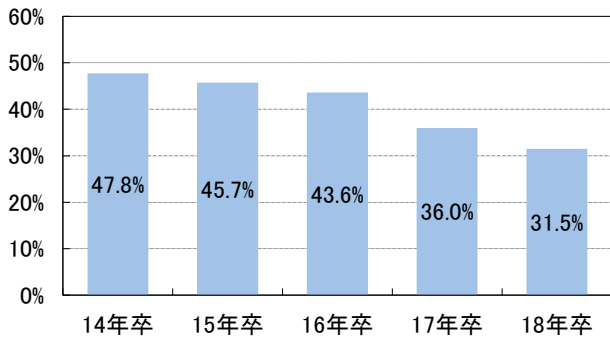
エントリー後に志望度を高めた情報【複数回答】



エントリー後に志望度を高めた情報【複数回答】

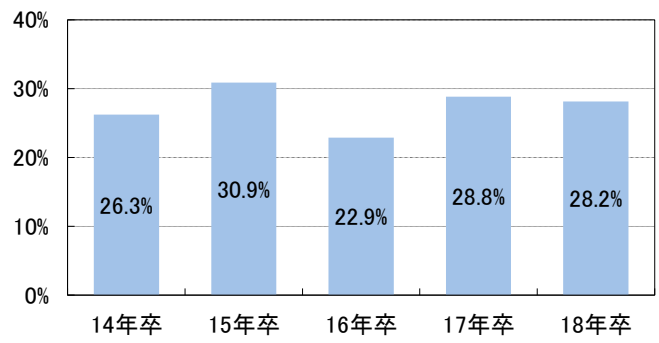


アンケートが付いていたことが理由で
エントリーしなかったこと



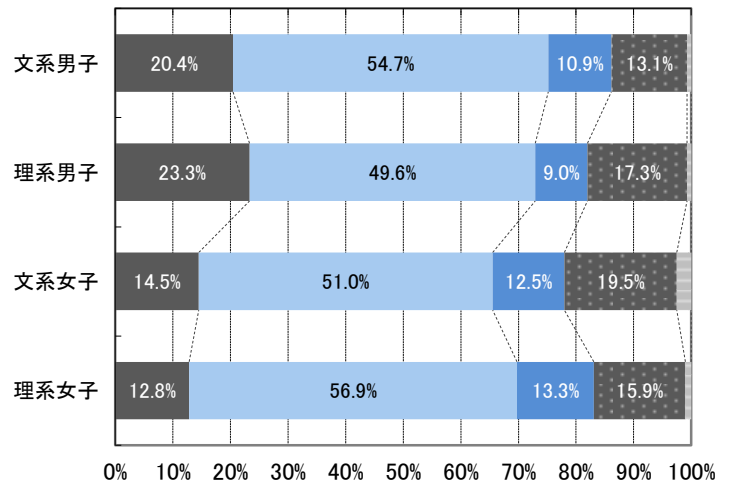
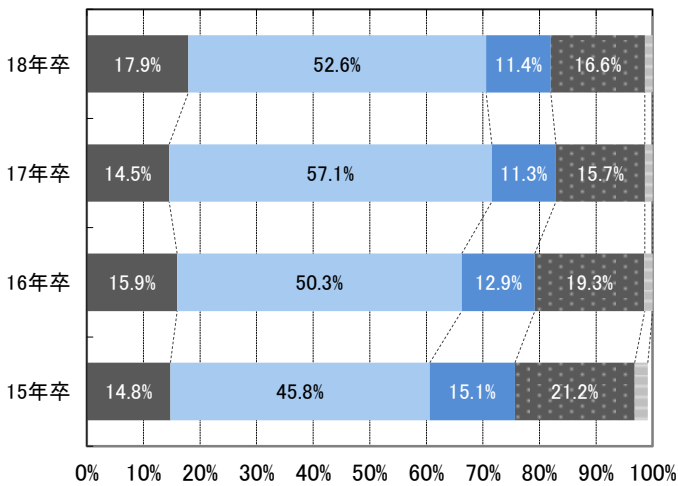
▼以下、アンケートが付いていてエントリーしなかったことが「ある」方のみ

志望度の高い企業であってもエントリーしなかったこと



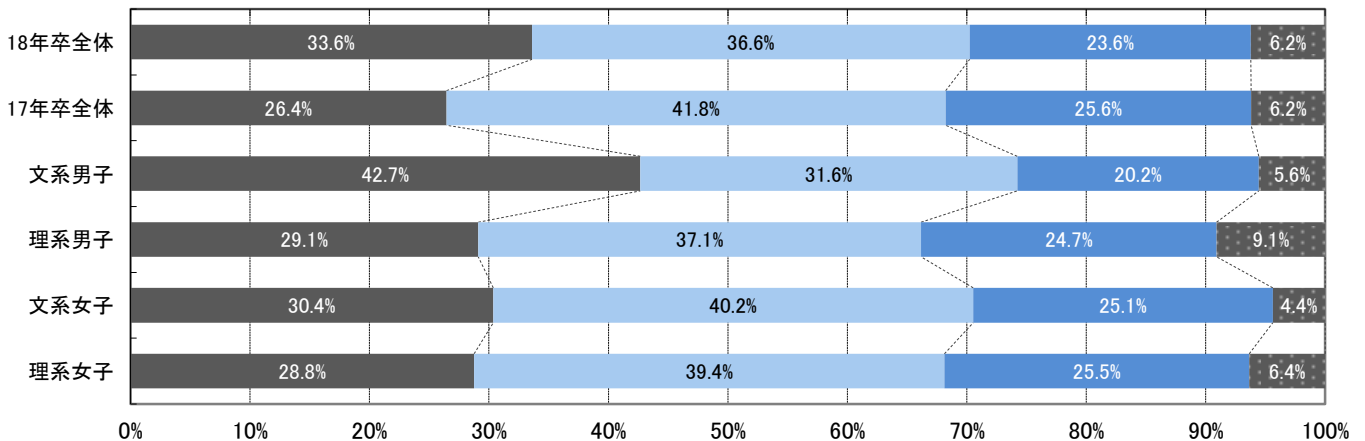
エントリーしなかった理由

- アンケートの設問数が多すぎるから
- アンケートの内容で選考されると思ったから
- 回答方法が記述式等、手間が掛かるから
- その他
- アンケート内容に答えられないと思ったから



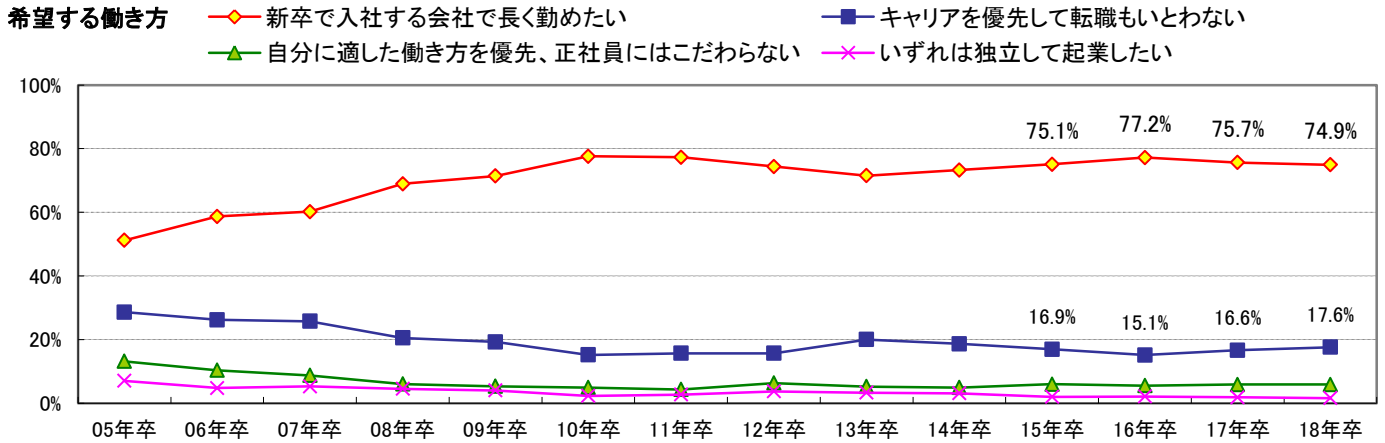
個別企業セミナーの予約がすぐできることは、
あなたがその企業にエントリーをするかどうかに影響するか

- 大いに影響する
- 影響する
- あまり影響しない
- まったく影響しない

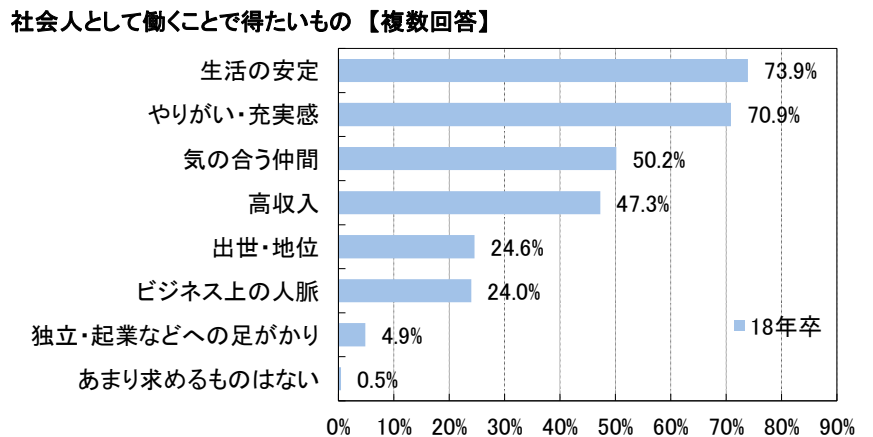
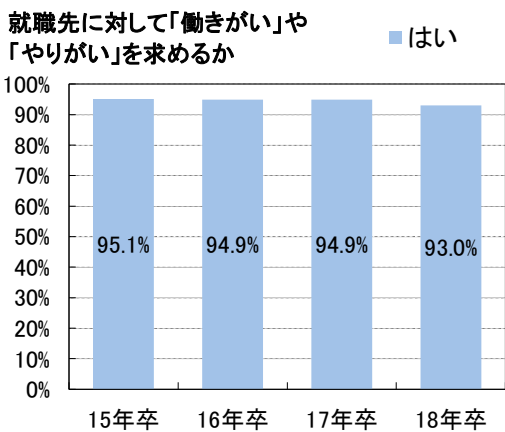


■9:就職に関する志向について

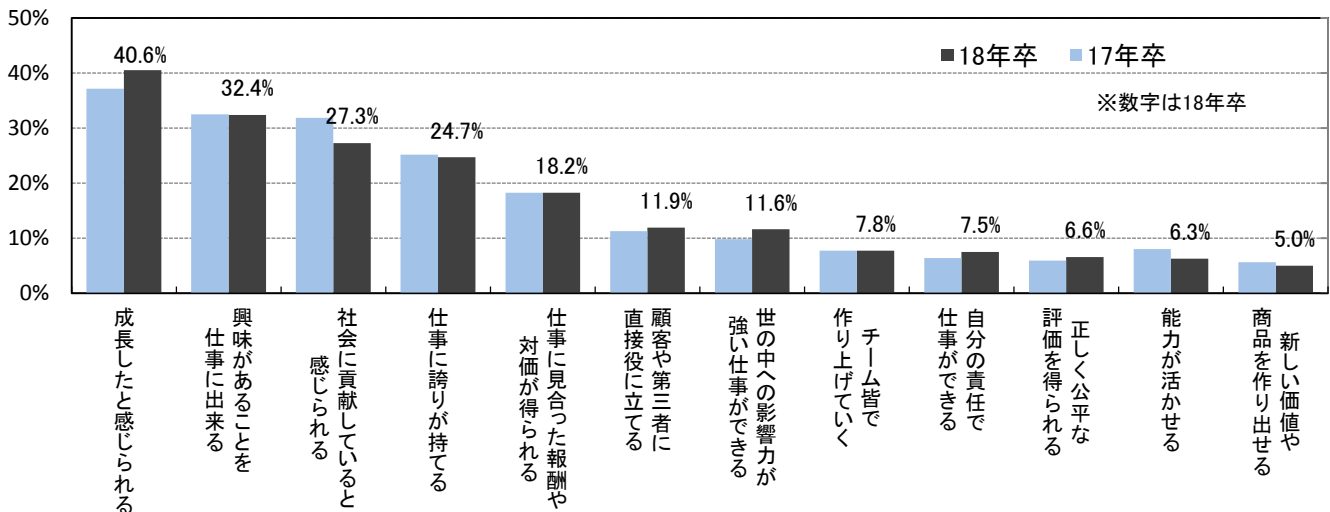
学生の希望する働き方については、「新卒で入社する会社で長く勤めたい」が全体のおよそ4分の3を占める74.9%だが、2年連続で減少した。「キャリアを優先して転職もいとわない」は1.0pt増の17.6%とこちらは2年連続で増加した。就職先に対して「働きがい」や「やりがい」を求める学生の割合は93.0%で前年比1.9pt減だった。「働きがいや、やりがいを感じる職場」については、前年同様「成長したと感ぜられる(40.6%、前年比3.5pt増)」が最も高く、割合も前年より増加した。2番目に多く選択されたのは前年同様「興味があることを仕事に出来る(32.4%、前年比0.1pt減)」で、3番目も前年同様「社会に貢献していると感じられる(27.3%、前年比4.6pt減)」だったが、前年よりやや割合が減少した。社会貢献よりも自分の成長を重視する傾向が見られるようだ。



※12年卒以前は全て10月に、13年卒-15年卒は12月に調査実施 ※13年卒以後はウエイトバック集計後の数値



どのような職場であれば「働きがい」や「やりがい」を感じるか【2つ選択】

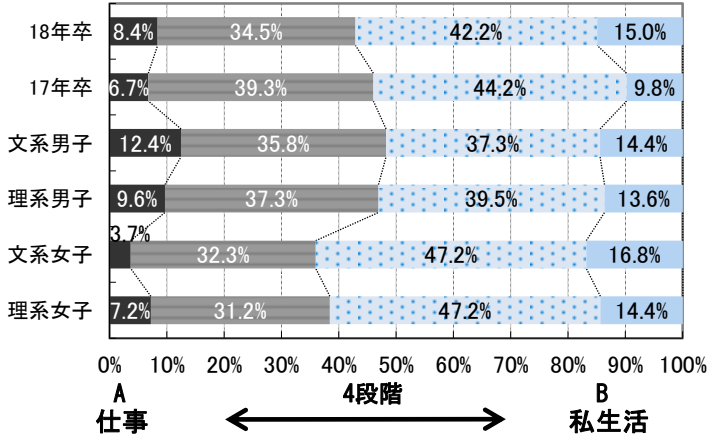


企業選択を迫られる際、どちらを重視するかについて、12項目で聞いたところ、「仕事」⇔「私生活」では「私生活」が優勢で、「私生活を重視」を選択した割合は前年より5.2pt増加した。「全国転勤あり」⇔「地域限定」では「地域限定」が優勢で、女子では文理とも約4分の3が「地域限定（ややも含む）」を選択した。「広い人間関係を構築する」⇔「決まった範囲での人間関係を深める」では「広い人間関係を構築する」が優勢で、こちらを重視する学生は前年より4.0pt増加した。

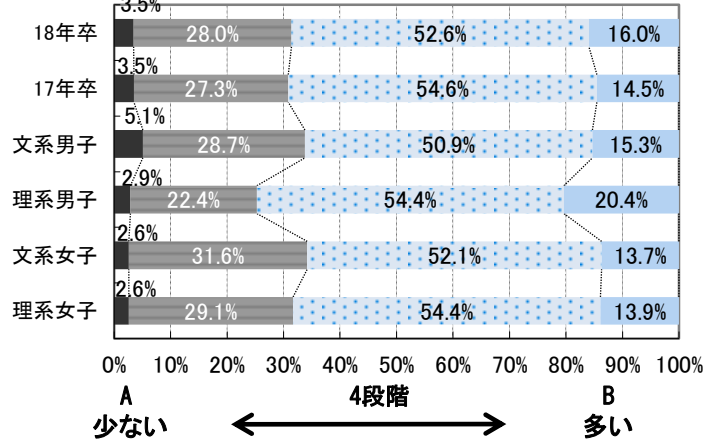
◆企業選択を迫られる際、次の項目において「重視するもの」（左をA、右をBとし、Aを重視、ややAを重視、ややBを重視、Bを重視の4つから選択）

■ Aを重視 ■ ややAを重視 ■ ややBを重視 ■ Bを重視

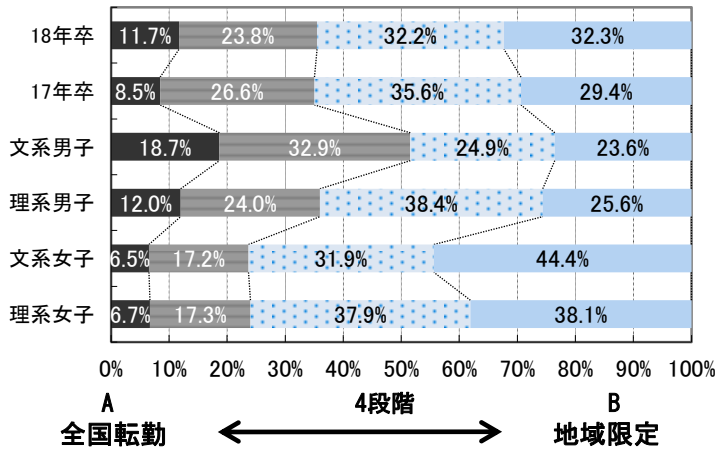
「仕事」or「私生活」



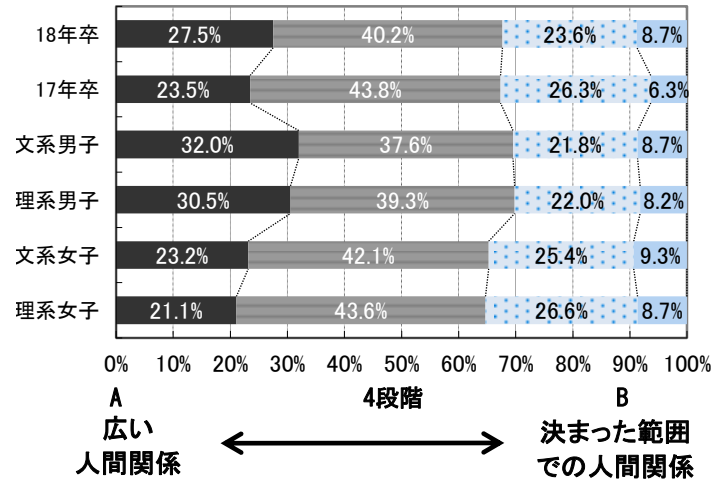
「従業員数が少ない」or「従業員数が多い」



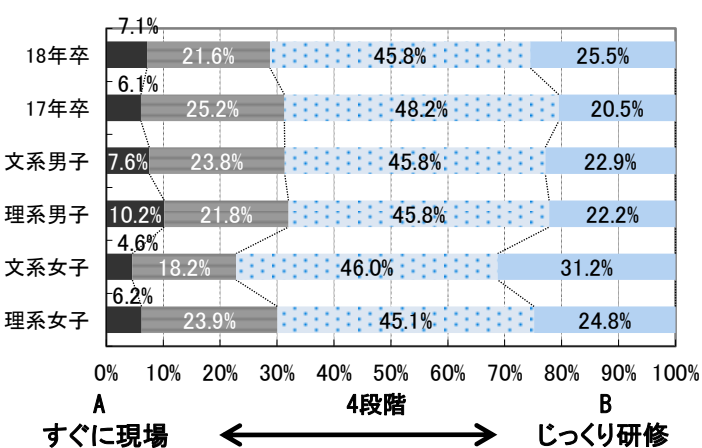
「全国転勤あり」or「地域限定」



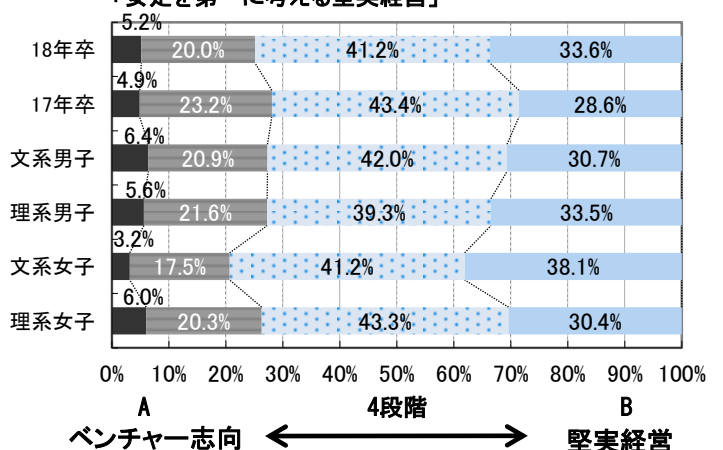
「広い人間関係を構築する」or「決まった範囲での人間関係を深める」



「すぐに現場に出られる」or「じっくり研修を行う」



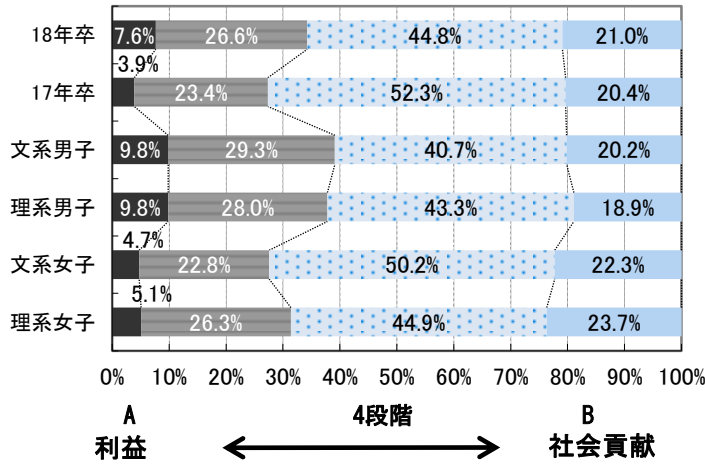
「成長する可能性のあるベンチャー志向」or「安定を第一に考える堅実経営」



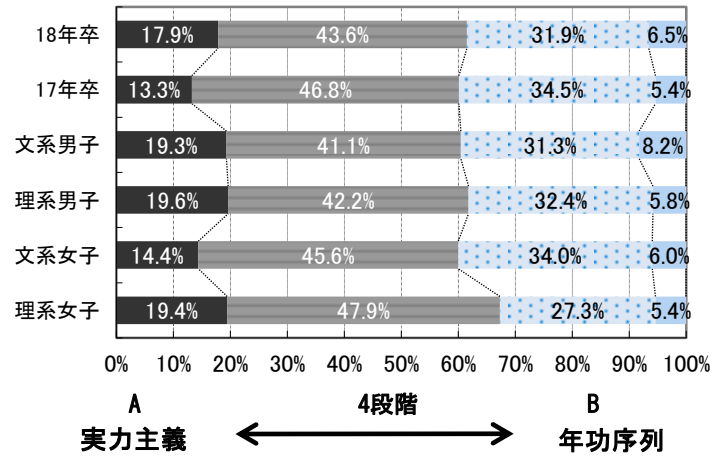
「社会貢献より利益を重視」⇔「利益より社会貢献を重視」では前年同様「利益より社会貢献を重視」が優勢だったが、「やや重視」と「重視」の割合の合計が前年より6.9pt減だった。今年から新たに調査した項目では「熱い雰囲気」⇔「ぬるい雰囲気」ではほぼ6：4で「熱い雰囲気」がやや優勢で、この割合は文理男女ともあまり変わらなかった。「給料は高いが残業がある」⇔「給料は安い残業がない」では、男子は「給料は高い」がやや優勢だが、女子ではほぼ五分五分だった。企業のグローバルな側面については、「海外で働ける」⇔「国内のみで働ける」は「国内のみで働ける」がやや優勢で、女子は比較的「国内のみで働ける」を重視する傾向があった。「外国人社員がいる」⇔「外国人社員がいない」ではやや「外国人社員がいる」が優勢ではあるがほぼ五分五分だった。

◆企業選択を迫られる際、次の項目において「重視するもの」 ※は今年から調査

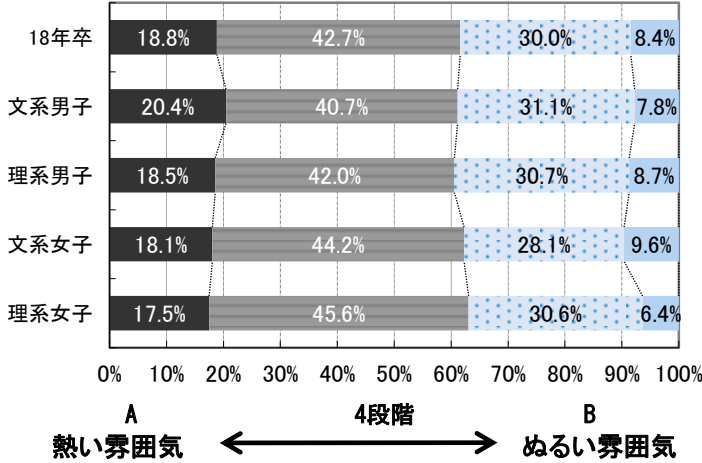
「社会貢献より利益を重視」or「利益より社会貢献を重視」



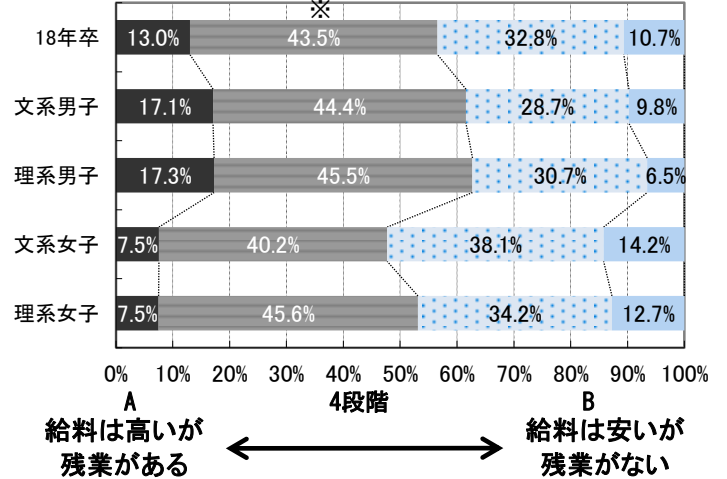
「実力主義」or「年功序列」



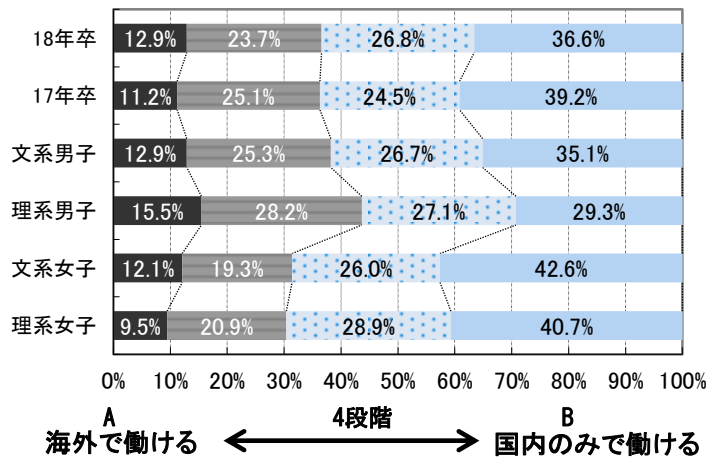
「熱い雰囲気」or「ぬるい雰囲気」※



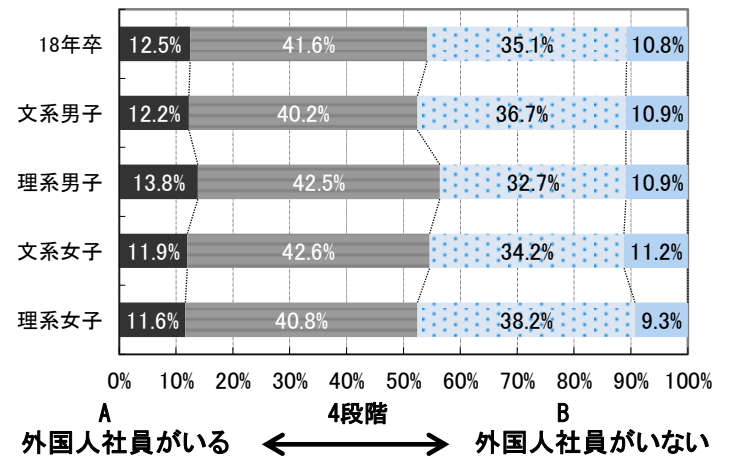
「給料は高いが残業がある」or「給料は安い残業がない」



「海外で働ける」or「国内のみで働ける」



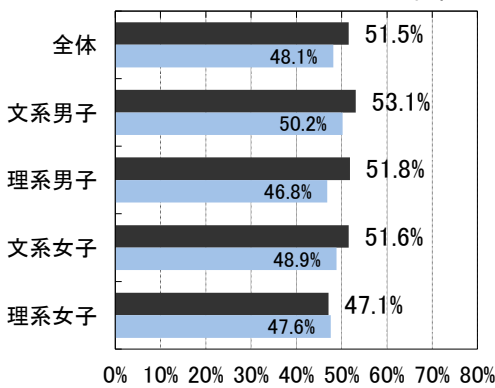
「外国人社員がいる」or「外国人社員がいない」※



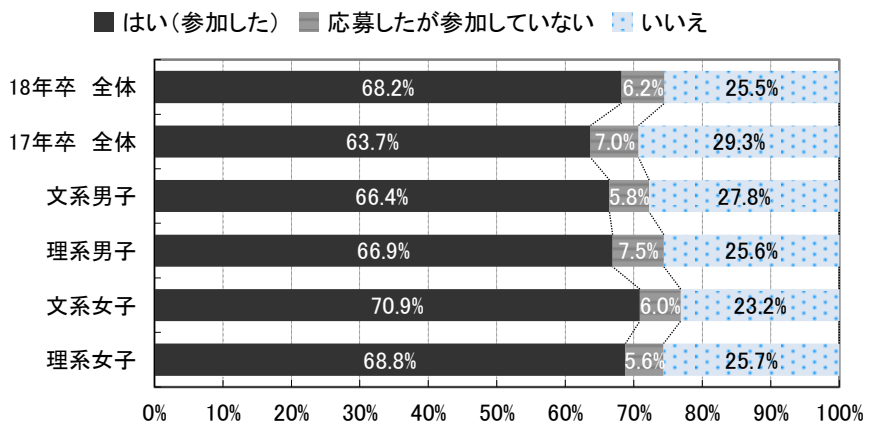
■10: インターンシップについて

2月以前にインターンシップに参加したことがある学生は68.2%で、前年より4.5pt増加した。また、2月以前にインターンシップ参加のための選考を受けたことがある学生は51.5%（前年比3.4pt増）で半数を超えている。
 インターンシップに参加したことがある学生に、応募する際の基準を聞いたところ、最も割合が高かったのは前年同様「興味のある業界だったから（62.9%）」だったが、2番目に多かったのは「興味のある職種（仕事）についての内容だったから（34.6%）」で前年の3番目から順位を上げ、前年2番目だった「都合の合う日程だったから（34.2%）」は前年より7.4pt減と大きく減少して3番目以下になった。また「知名度の高い企業だったから（15.3%）」は前年より4.5pt増加している。
 参加しやすいと感じるインターンシップの実施期間は「1日」という回答が前年より11.5pt増と大幅に増え、53.6%と半数を超えた。女子では文理とも6割前後が「1日」と回答した。

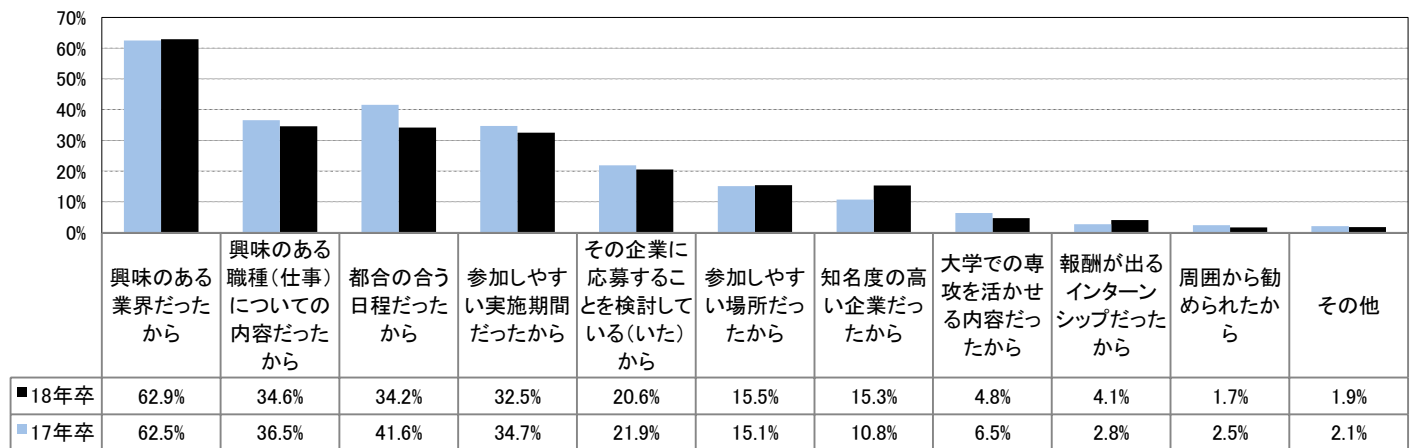
2月以前にインターンシップ参加のための選考を受けたことがある割合



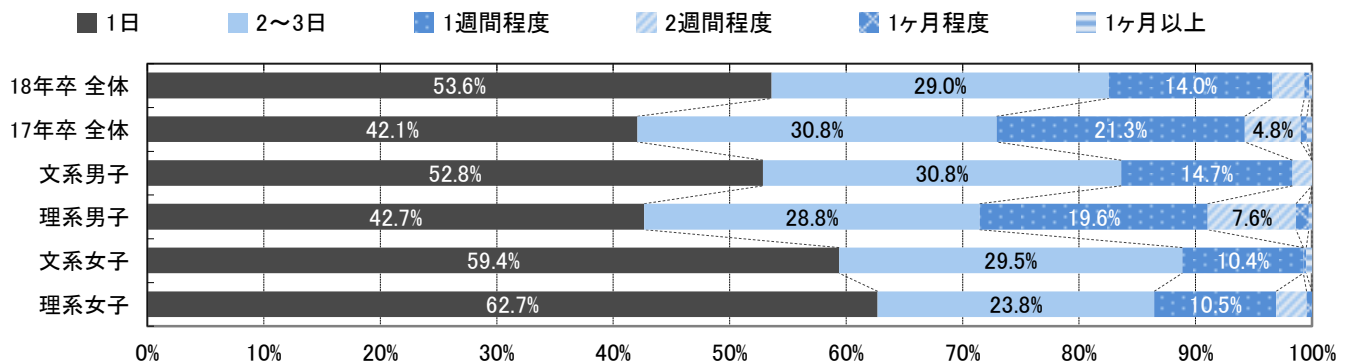
2月以前にインターンシップに参加したことがありますか



※以下、インターンシップに参加したことがある学生のみ回答
 インターンシップに応募する際の基準(3つ以内で選択)



参加しやすいと感じるインターンシップの実施期間



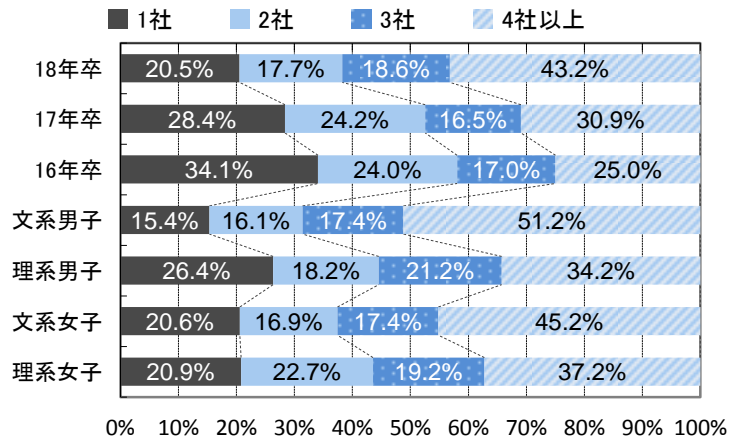
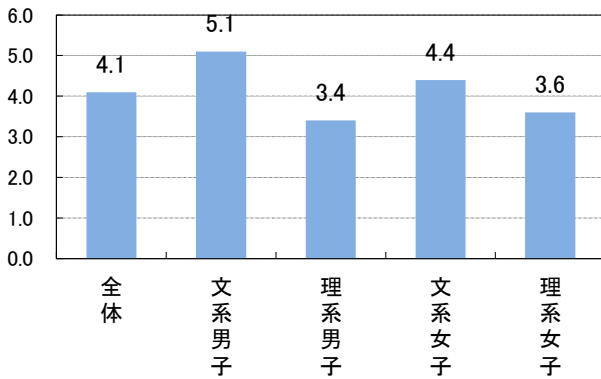
インターンシップに参加したことがある学生の参加社数平均は4.1社だった。4社以上参加した学生の割合は43.2%で、前年より12.3pt増と大きく増加した。インターンシップに参加する学生の間では複数の企業に参加するのが普通という状況になっているようだ。インターンシップに参加した企業のうち3月以降エントリーした企業の平均は2.5社、採用選考を受けた企業と受けるつもりの企業の平均の合計は2.6社で、複数の企業のインターンシップに参加した学生は、参加したすべての企業にエントリーや選考受験をするわけではないことがわかった。また、インターンシップに参加した学生と1社のみ参加の学生、2社参加した学生、3社以上参加した学生で活動量を比較したところ、不参加の学生と1社のみ参加の学生では大きな差はないが、3社以上参加の学生はすべての行動量において他の分類を上回っているという結果となった。多くの企業のインターンシップに参加する学生は、より多くの企業のセミナーに参加し、より多くの企業の選考を受ける傾向にあるようだ。

※以下、インターンシップに参加したことがある学生のみ回答

実際に参加したインターンシップの社数

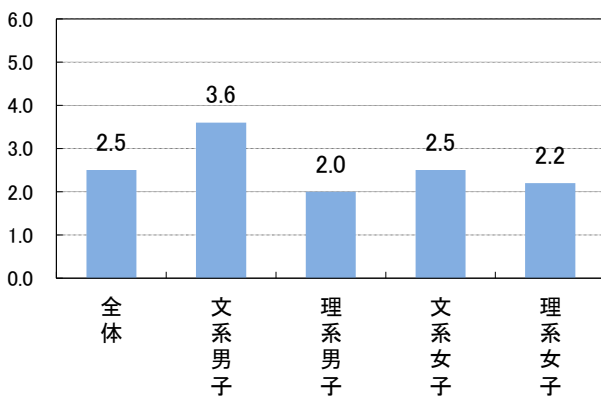
インターンシップの参加社数平均

【単位：社】



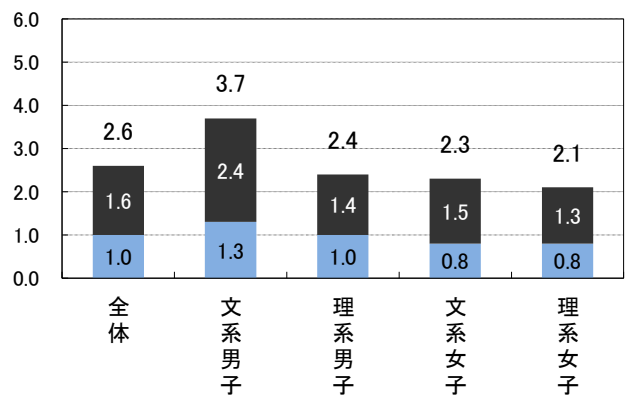
インターンシップの参加企業のうち
3月以降、エントリーした企業の数平均

【単位：社】



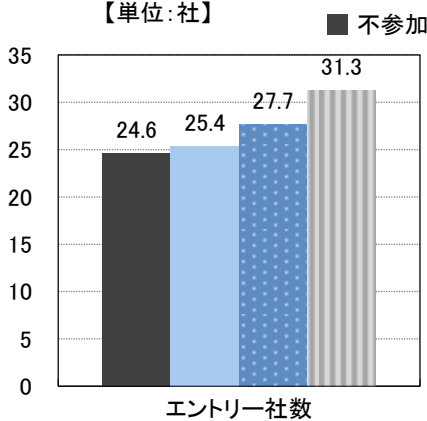
インターンシップの参加企業のうち
採用選考を受けた数+今後受けるつもりの数平均

【単位：社】



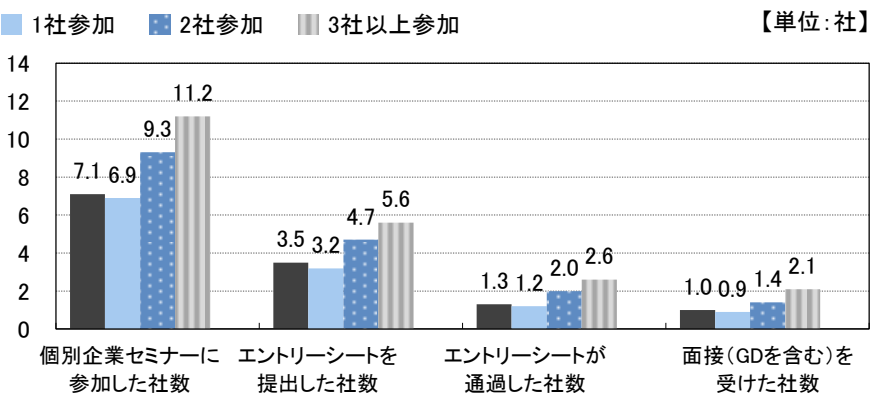
インターンシップ参加状況別
エントリー社数平均

【単位：社】



インターンシップ参加状況別
個別企業セミナー参加、ES提出・通過、面接受験社数平均

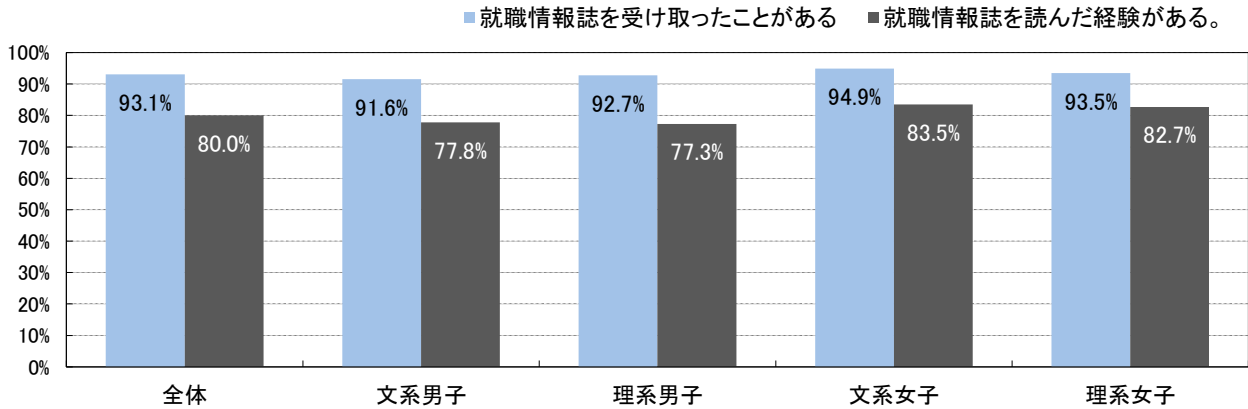
【単位：社】



■ 11: 就職情報誌について

就職情報誌を受け取ったことがある学生は93.1%、読んだ経験がある学生は80.0%だった。就職情報誌の内容で知りたかった/読みたかった情報では「エントリーシート対策（51.6%）」が最も高い割合で、「面接対策（48.4%）」「業界の解説（43.4%）」「筆記試験対策（39.1%）」「自己分析対策（36.7%）」などが続いた。就職活動に関する実践的な内容が好まれる傾向にあるようだ。

就職情報誌を受け取ったことがある割合と読んだ経験がある割合



宅配型の就職情報誌で知りたかった・読みたかった情報【複数回答】

